



徳川慶喜肖像写真（当館蔵）

目 次

① 展示紹介

特別展 「徳川慶喜」

② 収蔵史料（資料）紹介

歴史資料課 幕末水戸藩の新史料『水戸家中斎藤家文書』

行政資料課 茨城県の鳥「ヒバリ」誕生～県庁移転時収集行政文書から

*文中の目録「[県庁移転時収集行政文書](#)」（クリックしてください）

学芸課 平成26年度無形民俗資料記録映像「栗野春慶塗」から

③ トピックス

とくがわよしのぶ
特別展「徳川慶喜」

【会期】平成27年2月7日(土)～3月22日(日)

前期：2月7日(土)～3月1日(日)，後期：3月3日(火)～3月22日(日)

※休館日：2月9日(月)・16日(月)・23日(月)，3月2日(月)

「最後の将軍」として知られる徳川慶喜は、水戸藩主徳川齊昭^{なりあき}の子に生まれ、江戸幕府の15代将軍となりました。天皇家と徳川家双方の血をひき、早くから周囲の期待を担った慶喜は、諸勢力が交錯する政局の中心に立ち、果敢に幕政改革を進めます。そして、最後には江戸開城への道を開き、後半生は政治的沈黙を貫きました。

本特別展では、激動の時代を生きた幕末期を中心に、朝廷や幕府、そして水戸藩との関わりをもとに、「最後の将軍」の人物像に迫りつつ、その行動を読み解いていきます。また、当館が所蔵する一橋徳川家伝来の史資料や、慶喜の生涯を彩る名品の数々とともに、周辺の人びとや動乱期の様相をあわせて紹介します。

展示構成および主な展示資料は、以下のとおりです。

第1章 血統は語る

1. 公と武の遺伝子 2. 原風景としての水戸藩

慶喜の父・齊昭や母・吉子^{よしこ}ゆかりの名品、慶喜が幼少期を過ごした幕末期の水戸藩に関わる史資料を中心に展示します。本章では、その出自や生育環境が慶喜の人物像をいかに形づくり、またその後の行動にいかなる影響を与えていったのか、その原風景を見ていきます。



桜花文兵庫鎖太刀拵 徳川齊昭所用(東京国立博物館)
Image:TNM Image Archives



登美宮吉子肖像(部分、徳川ミュージアム)
徳川ミュージアム・イメージアーカイブ／DNP artcom

第2章 英明の将軍候補

1. 一橋徳川家 2. 雄藩連合の旗標^{はたじるし}

一橋徳川家および越前(福井)松平家伝来の名品や史資料を中心に展示します。本章では、慶喜が相続した一橋徳川家の特質を示すとともに、政局が動乱の様相を見せ始めるなかで慶喜が次期将軍の継嗣^{けいし}に擁立されていく過程を、周辺の群像をとおして探ります。



沢瀉葵紋蒔絵鞍・鎧(当館 一橋徳川家記念室)
※前期展示



一橋屋敷絵図(当館 一橋徳川家記念室)
書「松雲伴鶴飛」徳川慶喜筆(霊山歴史館)



第3章 動乱の京都で

1. 京都という政治空間

2. 王城の守護神

3. 本圀寺党と天狗党

伝統都市から政治都市へと急激な変容をとげる京都を舞台に、慶喜が將軍後見職・^{きんりしゅえいそうとく}禁裏守衛総督として幕末政局に登場した時期の史資料を展示します。本章では、朝廷と幕府、そして雄藩大名らの思索が交錯する中で、慶喜がどのような権力基盤を築き上げていったのか、禁門の変をめぐる動向などから、その一端を明らかにします。また、水戸藩士である本圀寺党と天狗党との関わりにも注目し、関係の史資料を展示します。



加茂行幸図屏風(右隻、霊山歴史館)



白地桜立涌文紋織狩衣
(当館 一橋徳川家記念室)



錦絵 日本外史之内〔禁門の変〕
(大洗町幕末と明治の博物館) ※後期展示



日本三景図中啓のうち宮島図
(徳川慶朝氏蔵)

第4章 異形の征夷大將軍

1. 家康の再来

2. 大君の青写真

3. 大政奉還

江戸幕府第15代將軍となった慶喜の將軍としての特質を明らかにする史資料を展示します。本章では、「家康の再来」とおそれられつつ果敢に幕政改革を進め、権力基盤の強化を図る慶喜の実像に多面的に迫っていきます。また、フランスとの親密な交流の一端をとおして大君(対外関係における徳川將軍の呼称)としての積極的な外交姿勢を紹介するほか、大政奉還に関わる史資料等を展示し、その背景や意図を読み解いていきます。



書「誠」 徳川慶喜筆(当館寄託 一橋徳川家記念室)



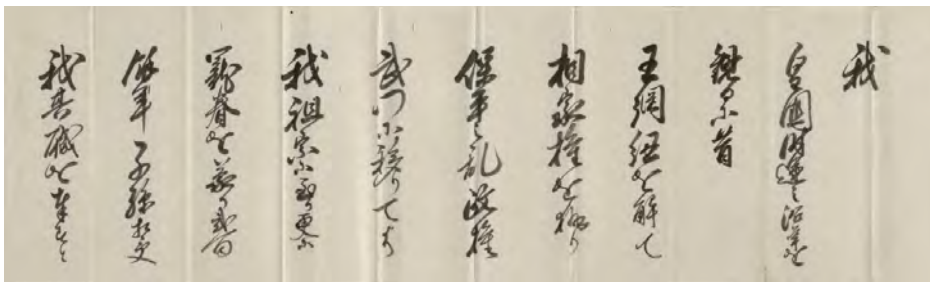
洋式軍装馬具(福井市立郷土歴史博物館)



重要文化財 二条城二の丸御殿黒書院障壁画
松図・牡丹図(元離宮二条城事務所)



大政奉還 下図(明治神宮)

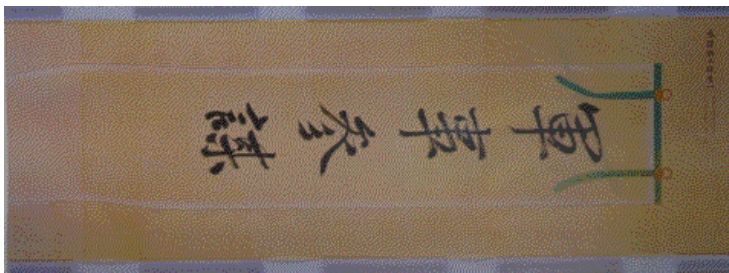


大政奉還上意書
(部分,当館 一橋徳川家記念室)

第5章 権力の落日

1. 官と賊のあいだ 2. 開城の風景

王政復古の大号令から鳥羽・伏見での敗戦を経て、謹慎恭順を決断する慶喜の行動を読み解くための史資料を展示します。本章では、政治権力をめぐる攻防のなかで朝敵とされ、やがて政治的発言力を封印するに至る慶喜のすがたを、周囲の動向の中から浮かび上がらせていきます。



重要文化財
戊辰所用錦旗及軍旗真図
(「公文附属の図」のうち)(国立公文書館)



錦絵 徳川治績年間紀事 十五代徳川慶喜公
(大阪城天守閣) ※前期展示



国宝 岩倉具視伝記絵図 小御所会議之図 ※後期展示
(「島津家文書」のうち)(部分,東京大学史料編纂所)

第6章 沈黙の三十年

1. 多才なる若隠居 2. 維新の功労者

若くして政治の表舞台から退隠し、三十年の政治的沈黙を経て名誉回復をとげる慶喜後半生の動勢を、ゆかりの史資料で紹介します。本章では、多芸多才ぶりを発揮した慶喜の実生活を紹介するとともに、三十年に及ぶ政治的沈黙が意味するところを読み解いていきます。



西洋雪景色図 徳川慶喜筆(福井市立郷土歴史博物館)

※前期展示



徳川慶喜肖像(国立歴史民俗博物館)

会期中の関連イベント情報

- 講演会
演題：「幕末・維新の徳川慶喜と木戸孝允」
日時：平成27年2月22日(日) 14時～16時 会場：茨城県立歴史館 講堂
講師：松尾 正人 氏(中央大学教授) 定員：200名(要入館券)
- ミニ講座
日時：①平成27年2月15日(日)「慶喜をめぐる群像－水戸・諸藩編－」
②平成27年3月8日(日)「慶喜をめぐる群像－幕府・朝廷編－」
各日14時～15時
会場：茨城県立歴史館 講堂
担当：茨城県立歴史館主任研究員 由波 俊幸 定員：200名(要入館券)
- 展示解説
日時：①平成27年2月8日(日)「動乱の貴公子」
②平成27年2月28日(土)「異形の将軍」
③平成27年3月15日(日)「官賊交錯」
各日とも11時～、14時～、各回約45分
会場：茨城県立歴史館展示室(要入館券)
担当：茨城県立歴史館主任研究員 由波 俊幸
- 小・中学生向け展示解説
日時：①平成27年2月11日(水・祝) ②平成27年3月14日(土)
各日とも12時～、14時～、各回約30分
会場：茨城県立歴史館展示室(要入館券)
担当：茨城県立歴史館主任研究員 由波 俊幸
- よろい・かぶと体験(小・中学生対象)
日時：平成27年2月21日(土) 10時～12時
会場：茨城県立歴史館講堂 定員：20名(小・中学生、要事前申込)
- ミニ掛軸作り体験
日時：平成27年3月14日(土) 11時～12時
会場：茨城県立歴史館講堂 定員：30名(要事前申込)
- 慶喜スタンプラリー
日時：会期中全日
参加施設：徳川ミュージアム、水戸市立博物館、偕楽園・見晴亭、弘道館、常磐神社義烈館、常陽史料館、大洗町幕末と明治の博物館、茨城県立歴史館 ※順不同

(学芸課 主任研究員 由波 俊幸)

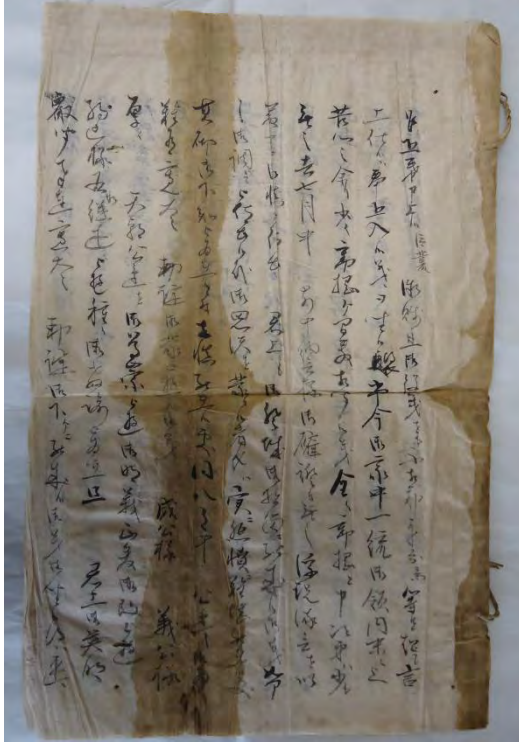
幕末水戸藩の新史料『水戸家中斎藤家文書』

平成 26 年 11 月 26 日、『水戸家中斎藤家文書』がご当家から当館に寄贈されました。斎藤家は、越中国虵尾城主であつた斎藤次郎右衛門尉信利を祖とし、その子市右衛門正利が初代水戸藩主の徳川中納言頼房附、先手頭となつて以降、代々水戸徳川家に仕えてきました。『水府系纂』（巻二十）によれば、斎藤家は、正利（先手足輕頭～取次役）、利成（小普請組）、利忠（留守居同心頭）、利濟（書院番組）、利之（普請奉行）、利致（小普請組～歩行士）、利貞（奥右筆）といった役職に就いており、水戸中級藩士の家格といえます。資料群の内容としては、徳川家康本領安堵状（天正 12 年）や菊池久右衛門（光次、斎藤正利弟利信、加賀藩主前田綱紀の家臣菊池右衛門大夫の養子）書状等の近世初期の書状類のほかに、幕末維新期の斎藤市右衛門利貞やその弟留次郎利明関係の書状・書付類、明治・大正期の利和・利義の辞令・証書・褒状類、「神君御陳羽織綿」や利貞形見の掛軸等の現物資料があります。

今回は、幕末水戸藩における勅諭返納問題、筑波勢の大平山屯集、元治甲子の乱の時期の新史料を 3 点、紹介したいと思います。激動の幕末水戸藩にその身を投じて落命した 30 代の 2 人の青年、兄斎藤市右衛門利貞とその弟留次郎利明の短くも情熱的な人生を、ぜひ感じてみてください。

～発見されたもう一通の斎藤留次郎の諫状～

【史料Ⅰ】「(斎藤留次郎利明諫状)」(水戸家中斎藤家 No.16)



万延元年（1860）2月24日、水戸城中は勅書返納問題で揺れていました。安政5年（1858）8月8日に降下された所謂「戊午の密勅」は、日米修好通商条約の調印や徳川斉昭・慶恕（後の慶勝）の謹慎等の幕府の処置に孝明天皇が「御不審」を表明し、国内諸侯の群議を尽くして徳川宗家を扶助し、内憂外患に対処せよ、と幕閣に伝えるものでした。しかし、関白九条尚忠の署名が欠け、武家伝奏万里小路正房の里邸で降下されたという手続上の異例さに加え、水戸藩への勅書には「列藩一同」にこの趣意を伝達せよとの副書が付されており、それらは天皇の幕府への不信と解釈され得るものでもありました。そのため、幕府は再三にわたって水戸藩に勅書返納を迫り、水戸藩内でも返納の可否をめぐり激論

が交わされ、藩政は混乱を極めていきます。また安政5年（1858）9月、大老井伊直弼が京都での水戸藩士の弾圧を命じ、また水戸藩への降勅を伝えた元小浜藩士梅田雲浜を捕縛したことから安政の大獄が始まります。そして、幕府から勅書返納の朝旨が伝えられたこともあり、長く続いた評定の結果、万延元年（1860）2月23日、ついに水戸藩は勅書返納に決し、支族徳川頼讓を総奉行として25日に出発することとなりました。

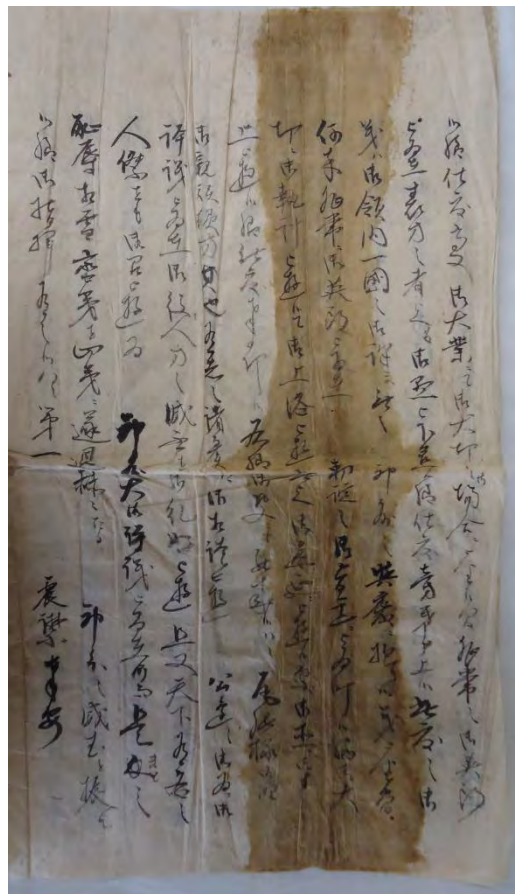
その決定を受けた翌24日の水戸城中は騒乱を極めました。その様子を、『水戸藩史料』（上巻坤）は「迎テも生ては不居身なり」と突然走り出す者、水戸城に切り込みをかけ、役人を討ち果たそうとする者など、「城中の物情洶々として狂するが如く実に名状す可らざるものあり」と伝えています。その中で一人、斎藤留次郎利明は「我が事終われり」として一度退城して衣服を改め、再び登城します。同夜、留次郎は「一封の諫状」を懷中に留めて、水戸城中大広間廊下にて自刃して果てます。大広間廊下は勅書の通過すべき場所であり、留次郎は自らの血を注いでこれを防ごうとしたとも言われています。その諫状の中で、留次郎は勅書返納を「小義ヲ憚リテ大義ヲ取失」うものと批判し、特に前藩主徳川斉昭に対して、このままでは弘道館記や著述等で示された「御高論」は全くの「御虚文」となり、「天下ノ重キヲ御任ジ遊バサレ候ニハ之有間敷」との批判を招く、今こそ「天下有名ノ人傑」を集結して「大御評議」を実施し、「是迄ノ恥辱ヲ改メサセ蛮夷ヲ四方ニ逐退ケ赫々タル神州ノ武ヲ奮ヒ候様

御指揮」すべきと、強い調子で諫言しています。この事件は、「斎藤〔留次郎〕叢の一死は満城の人心に感動を与へたり是に至り家老以下諸有司も亦慄然として大に反省する所あり勅書之が為めに又暫く水戸城中に留りたり」(『水戸藩史料』上巻坤)等と、勅書返納を水戸藩家老等に思い止まらせたと評されています。

【史料Ⅰ】は、その城中割腹自決の際の血痕が付着したとされる斎藤留次郎利明の諫状です。写真の史料中央部の変色箇所が、その血痕だと伝えられています。しかし、その文面を仔細に分析すると、今回寄贈された諫状(【史料Ⅰ】)は、広く知られた『水戸藩史料』(上巻坤)記載の諫状とは異なるものであることがわかりました。つまり、斎藤留次郎の諫状は、実は2通作成されていたのです。

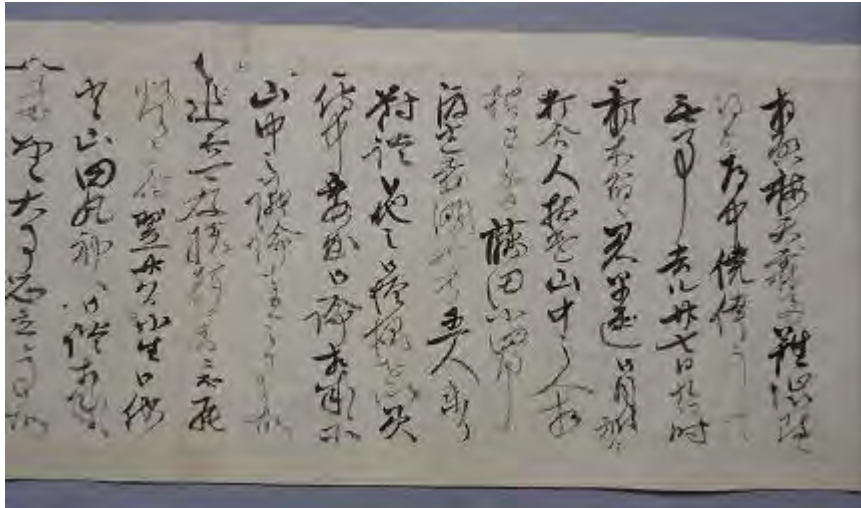
『水戸藩史料』記載の諫状では、現藩主慶篤を「中納言様」と表記していたのが、今回寄贈された諫状では慶篤を「君上」、斉昭を「前中納言様」と表記しています。その内容も、特に現藩主慶篤に対して、間部詮勝等の幕閣「有司」に欺かれて勅旨を実行しなければ「無穢 神州」を「有司之為ニ」穢し、徳川宗家が「御不忠之御家」となり、当家も「御不忠之御名」を蒙ってしまう、将軍が幼少でもあり、このような時のために「御三家様をハ御立置被遊候」と諭し、今こそ勅旨を実行し、上洛して天皇に遅延した理由を申し述べ、元尾張藩主徳川慶恕等の親族に相談の上、「天下有名ノ人傑」を集結して「大御評議」を実施すべきという「非常之御英断」を求めています。文面から判断すると、『水戸藩史料』記載の諫状は前藩主斉昭宛て、今回寄贈された諫状は現藩主慶篤宛てのものであり、水戸の斉昭宛諫状が世に出る一方、江戸の慶篤には諫状は届かず、斎藤家に留められたのではないかと推察されます。

斎藤留次郎利明、時に31歳。その辞世は「いたつらに朽ぬる身をも今はたゞ 国の御ために数ならずとも」と伝えられています。同諫状は「臣叢微賤且御役義ヲモ相勤ザル身分」としながら、その一身を藩と「神州」、そして自らが信ずる道に殉じた幕末水戸藩士の心に触れることのできる、貴重な歴史史料となっています。



～発見された最後の大平山出張報告～

【史料Ⅱ】「(書状)〔元治元年 5 月 27～29 日の大平山出張での藤田小四郎,
田丸直允等との対談その他近況報告〕」(水戸家中斎藤家 No.53-4)



斎藤留次郎利明の兄市右衛門利貞は、文久3年(1863)2月の水戸藩主徳川慶篤の上京に随従し、慶篤が將軍目代、江戸守備の任に就くよう朝廷より命じられた3月24日、奥右筆となっています(『水府系纂』巻二十)。しかし、江戸に帰着した慶篤と利貞を、難しい事態が待ち受けていました。横浜鎖港の朝儀もあり、翌元治元年(1864)3月末、いよいよ藤田小四郎等の水戸藩尊攘激派が筑波山挙兵に打って出たのです。

水戸町奉行田丸稻之衛門を総帥とする筑波勢は、竹内百太郎の小川勢、岩谷敬一郎の潮来勢等を含めて百数十名に膨らみました。4月3日、筑波勢は日光東照宮での神廟祈願、宇都宮藩尊攘派との連携を期して、一路日光に向かいます。「源烈公神輿」を担ぐ筑波勢は日光山で攘夷挙兵の檄を飛ばし、同14日には大平山に立て籠もりました。宇都宮勢との連携を警戒した幕府は水戸藩に筑波勢の鎮撫を命じ、水戸藩は4月10日と5月15日に側用人美濃部又五郎、目付山国兵部、立原朴二郎等を派遣して水戸藩領内への帰還を説得しましたが、容れられませんでした。しかし、宇都宮藩が提携拒否へと藩論を転回させたことで筑波勢は挙兵の再定義を迫られ、結城・壬生・下館等の常野諸藩に攘夷決起と軍資金提供等を求めながら、5月末までに栃木町へ再結集、6月1日に小山へ出立することに決し、大平山を下山することになります。

以上がよく知られた筑波勢の大平山屯集から下山までの史実ですが、今回寄贈された【史料Ⅱ】は、5月27日に側用人美濃部又五郎と共に大平山へと出張した奥右筆斎藤利貞が、下山直前の大平山の筑波勢の様子を奥右筆頭取野村彝之介等を通じて江戸家老「御四人様」(武田耕雲斎、興津勝五郎、山国兵部、中山与三左衛門)宛てに5月29日付で伝える報告書にな

っています。つまり、大平山の筑波勢が下山する直前まで水戸藩による直接の説得工作が行われていたことが、今回寄贈された【史料Ⅱ】によって新たに明らかになりました。

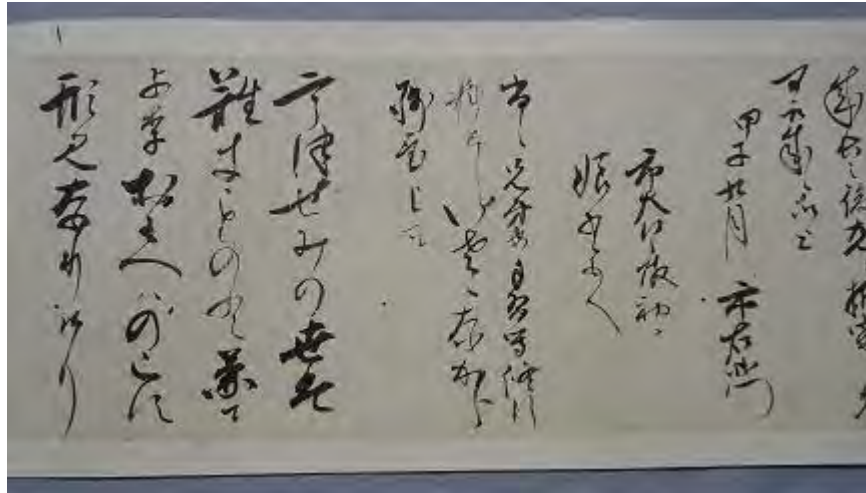
報告書によれば、27日に栃木宿に着いた利貞等は、同日に藤田小四郎等5人と対談、翌28日には登山して総帥田丸稻之衛門等と対談し、「衆評熟談之上挨拶」との回答を得ました。栃木への帰宿後、終日囲碁等をして「一日千秋」の思いで返答を待つなか、29日昼頃に、「御内沙汰」（恐らく筑波勢を鎮圧せよとの関八州宛て幕府令）を記した26日付廻状が美濃部のもとに届きます。利貞等はその「御迫切の趣」に驚き、直ちに大平山にそれを伝えて返答を催促すると、同夕に竹内百太郎が利貞等を訪れ、「山中も一決御領内へ相引」くこととなり、明30日朝に下山する旨について長岡駅まで先触を出してくれないかと依頼しています。大平山では、江戸家老興津勝五郎の25日付廻状もあって「何れの方へ御談可然哉少々疑惑も起り」、加えて国元でも城代朝比奈泰尚、佐藤信近等の諸生派の手勢500名が府中駅に集結するという「余程動揺の儀」が起り、小川館か大平山へ攻め寄せるのではないかとの観測も流れたため、大平山で一戦交えようとの議論も起こっていたようです。しかし、結局は「公命ニ戻り当山ニ罷在ル不本意の筋に付大決断を以御領内へ繰込候事ニ衆決」し、既に筑波山に集結している70~80名についても「異論出来」「苦心不少」状況だが、「帰郷の節立寄談判」することに決した等と、下山直前まで混乱する筑波勢の様子が事細かに伝えられています。書状の末尾で利貞は、後醍醐天皇の御製「都だに さびしかりしを 雲はれぬ 芳野のおくの 五月雨の比」（『新葉和歌集』）になぞらえて、「つねたに さひしかりしを くもはれぬ 深山のおくの 五月雨のころ」と詠み、先の見えぬ大平山筑波勢の勤王の志士たちの寂しさ、ものの哀しさを、和歌によって見事に伝えています。

江戸家老宛の報告書が斎藤家に伝えられていること、また5月28日に江戸・小石川藩邸で改革派の武田耕雲斎、山国兵部等の江戸家老「御四人様」が失脚し、朝比奈泰尚、佐藤信近、市川三左衛門等の門閥派が主導権を握るという政変が起きたことなどを考えると、江戸家老「御四人様」が失脚したために報告書を出せなくなり、同書が利貞の手許に残されたものと思われます。それ故に、同書の存在が今まで世に知られることがなかったのでしょう。またこの書状により、筑波勢の大平山からの下山の契機が、特に「御内沙汰」を記した5月26日付廻状と府中駅に集結する諸生派の動きにあり、更に筑波勢内では下山時点でも水戸藩領内への「繰込」程度しか「衆決」できておらず、その後の組織的な展望が十分に描けていなかったことも窺い知ることができます。

この斎藤利貞の元治元年（1864）5月29日付、江戸家老宛書状は、『水戸藩史料』（上巻坤）や『水戸市史』（中巻五）にも記載されていないもので、下山直前の大平山筑波勢の様子を事細かに伝える、大変貴重な史料になっています。

～斎藤市右衛門利貞，愛児への遺書～

【史料Ⅲ】「(斎藤市右衛門利貞遺書)」(水戸家中斎藤家 No.53-2)



大平山から帰府した利貞は，宍戸藩主徳川頼徳等の大発勢の進發後，元治元年（1864）8月16日の再度の政変の際に，江戸・小石川藩邸にて謹慎を命じられました。死を悟った利貞は，水戸に下る知人に水戸西町の家族への書状を託します。【史料Ⅲ】は，利貞が「市大郎殿初メ娘たちへ」書き遺した同年9月付の遺書です。

「兄弟共成長の程見届度候得共」と始まる同書は，「兄弟成長文武を初メ縫針等ニ至ル迄厚く心懸ケ御祖母様並ニ母上え孝養被為尽候様可被成候」，「兄弟共手習等修行料としていさゝなから残置申候」等と子どもたちへの愛情に満ちた文章が，最後まで綴られています。また先の弟留次郎の諫死の際には，遺体を届けた原熊之介（原市之進の実兄）に「今や国家非常の秋に際し児の屠腹する固より其分なり妾何を哀むことか之あらん只殿中を汚せしは恐懼に堪えず」と顔色も変えずに伝え，熊之介に「此の母にして此の子あるものに非ずや」（『勤王実記 水戸烈士伝』上編巻五）と感嘆させた母（吉成又衛門妹）に対しても，利貞は「御祖母様百年之後迄ハ如何ニもして奉仕候様留次殿召腹之節申送も有之候間其所存ニハ候へ共当時之情態難斗候間兄弟共ニおひて御祖母様へ厚く御世話申上候様拙者ニおひて頼み入候」と兄弟共に先立つ不孝を詫び，後事を愛児たちに託しています。利貞の遺書からは，その端々に家族への細やかな愛情を感じることができます。

その後，水戸へと送致された利貞は，一夜だけ西町の自邸で家族と共に過ごし，翌日の12月5日に赤沼獄へと拘引されます（『南梁年録』八十三）。そして，翌年の慶応元年（1865）10月25日夜に赤沼の牢屋敷で処刑され，家名断絶となりました（『殉難死節履歴』茨城県八，国立公文書館所蔵）。斎藤市右衛門利貞，享年39歳。利貞の遺書には，辞世が「うつせみの世はなにものと兼てより おもへハのこす形見なりけり」と詠まれており，この世に残す愛

兄たちへの想い、いつの世も変わらぬ一人の父親としての想いが切々と伝わってくる、貴重な史料となっています。

その後、藩主徳川慶篤から家督相続の許可が下り、明治元年（1868）に斎藤市右衛門利貞は利和、弟留次郎利明は国松正明次男利政（養子）が嗣子となります。また斎藤留次郎は、明治22年（1889）5月2日に靖国神社に合祀され、同24年（1891）には従四位が贈位されています（『勤王実記 水戸烈士伝』上編巻五）。贈位を記念した高橋諸随（愛諸（多一郎）の子）撰文の「贈従四位斎藤留次郎君墓表」（明治24年12月）には、「君性沈毅寡黙，常不与人争，而臨大節，則必自当之，終際此危機一髮之秋，殺身以挽回大勢，聞者莫不感嘆称其忠烈矣」（『殉国殞命簿 行壽峻三集録』）と記され、現在の常磐共有墓地に眠る斎藤市右衛門利貞の墓碑にも「君為人誠懇精力過人，其在職終日執務不倦，若其忠君憂国之念則造次顛沛不離胸」（大正6（1917）年12月）とあり、弟留次郎の剛毅な人柄，兄市右衛門の誠実な人柄と，自らが信ずる大義に身を捧げた2人の短くも情熱的な生涯が，いかに同時代の人々を感嘆させたかを忍ばせています。

（歴史資料課 主任研究員 石井 裕）



【写真】常磐共有墓地に眠る兄斎藤市右衛門利貞（左）と弟留次郎利明（右）の墓碑

茨城県の鳥「ヒバリ」誕生～県庁移転時収集行政文書から

今年は、「ヒバリ」が県の鳥に指定されてから 50 年という節目の年に当たります。そこで、当館が公開している農林水産部林政課が作成した県庁移転時収集行政文書「茨城県民鳥獣指定関係綴」（県移 65-26）から県の鳥（ヒバリ）誕生について紹介します。

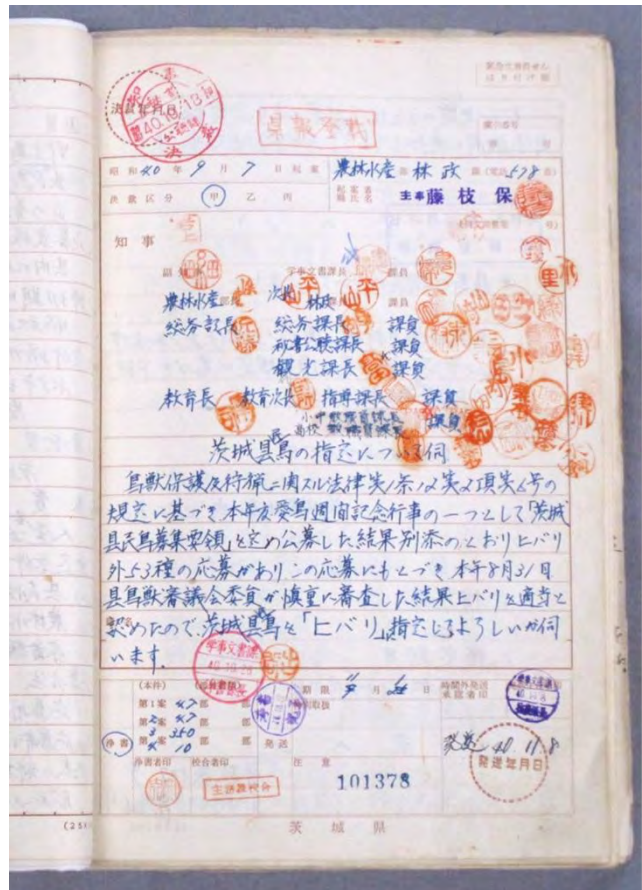
【県庁移転時収集行政文書】

平成 11 年、茨城県庁は水戸市三の丸から同市笠原町へ移転しました。移転にあたり、膨大な量の県行政文書の減量化計画が実施され、これに伴い、歴史館で収集したのが「県庁移転時収集行政文書」です。

【「県民の鳥」指定】

野生鳥獣が激減している傾向に対処するため、昭和 38 年 3 月狩猟法が大幅に改正され、「鳥獣保護及狩猟ニ関スル法律」となり、野生鳥獣の保護繁殖に重点が置かれ、狩猟については適正な捕獲が行われるように定められました。

この法律の規定に基づいて、鳥獣保護事業計画がつくられ、その一環として県民鳥獣の指定を行うため、昭和 40 年 4 月 30 日の岩上二郎知事の決裁により「県民の鳥」が公募されました。公募の趣旨は、県民の野生鳥獣に対する認識を高めるため、県のシンボルとしての鳥獣を指定することにより、県民の愛護思想を涵養することでした。こうして一般公募した結果をもとに、県内の学識経験者等を構成員とする茨城県鳥獣審議会で審査し、昭和 40 年 11 月 3 日に「ヒバリ」が茨城県の指定鳥となりました。



「茨城県民鳥の指定」原議（起案）書

また、原議(起案)書の別紙に掲載されている一般公募の結果を紹介します。

沃城畧民の鳥応募結果					
順位	鳥名	票数	順位	鳥名	票数
1	ヒバリ	430	23	ハフテヨウ	3
2	ウミウ	240	24	カイツブリ	3
3	ウブイス	151	25	カツコウ	3
4	シラサギ	32	26	ツバメ	3
5	ホオジロ	28	27	ウヅラ	2
6	キジ	26	28	オナガ	2
7	ムフドリ	25	29	キツツキ	2
8	メジロ	17	30	アハズドリ	2
9	コジュケイ	16	31	チドリ	2
10	キジバト	16	32	カウエシ	2
11	モズ	14	33	サンコウチョウ	1
12	ヨシキリ	12	34	オシドリ	1
13	ヤマドリ	11	35	オオルリ	1
14	シジュウカラ	7	36	オオハフチョウ	1
15	トビ	6	37	オオヒトリ	1
16	ヤマガラ	6	38	コガラ	1
17	ホトトギス	5	39	コマドリ	1
18	スズメ	5	40	コシアカツバメ	1
19	ヒキレイ	4	41	キビタキ	1
20	カゲス	4	42	キツアザキ	1
21	ヒヨドリ	4	43	ミズアイナ	1
22	カモ	3	44	カラス	1

順位	鳥名	票数	順位	鳥名	票数
45	カワラヒラ	1	50	ヒレンデウ	1
46	タカ	1	51	ワシ	1
47	イスカ	1	52	カモメ	1
48	アカゲラ	1	53	バン	1
49	アリス	1	54	ベアサメ	1

応募総数	1636
無効数	28
有効数	1608

茨城県民の鳥応募結果

以上のように、県庁移転時収集行政文書「茨城県民鳥獣指定関係綴」（県移 65-26）は、茨城県がどのように県の鳥を「ヒバリ」と決定したのか、その一端を読み取ることのできる行政文書です。

このような行政文書を保存・活用することで、その時々行政がどのような判断をしたのかを検証することができます。アメリカ国立公文書館記録管理局の玄関台座には、「過去の遺産は、将来の実りをもたらす種子である」という言葉が刻まれています。これは、行政文書は国民が共有すべき「遺産」であり、それは将来に豊かな社会を築くための重要な基礎をなすという意味を表しています。

行政資料課では、われわれが手にした遺産を後世に引き継ぐことを社会的使命として、行政文書の保存業務に日々取り組んでいます。

＊県庁移転時収集行政文書は、平成 11 年に収集以来、閲覧公開に向けて整理作業を継続中です。現在、今回紹介しました「茨城県民鳥獣指定関係綴」（県移 65－26）を含めた大正 11 年～昭和 40 年発生文書を公開していますので、どうぞ御利用ください。目録は以下のリンクのとおりです（「[県庁移転時収集行政文書目録](#)」PDF ファイル形式）。昭和 41 年以降の文書につきましても、順次公開していく予定です。

(行政資料課 首席研究員 柳橋 正雄)

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移22-1	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(一)	内務部	庶務課	昭和16～17 4-1 一覧表有
県移22-2	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(二)	内務部	庶務課	昭和18～28 5-1 一覧表有
県移22-3	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(三)	内務部	庶務課	昭和29～32 5-2 一覧表有
県移22-4	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(四)	内務部	庶務課	昭和33～41 5-3 一覧表有
県移22-5	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(五)	内務部	庶務課	昭和42～49 5-4
県移22-6	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(六)	内務部	庶務課	分冊①② 昭和3～31 公債簿償還済
県移22-7	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(七)	内務部	庶務課	分冊①② 昭和18～28 償還済2
県移22-8	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(八)	内務部	庶務課	昭和23～40 償還済
県移22-9	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(九)	内務部	庶務課	大正11～昭和31 特別会計
県移22-10	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(十)	内務部	庶務課	昭和16～21 内訳台帳
県移22-11	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(十一)	内務部	庶務課	昭和22～36 転貸債 一覧表有
県移22-12	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(十二)	内務部	庶務課	昭和29～40 交付公債 一覧表有
県移22-13	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(十三)	内務部	庶務課	昭和30～48 公募債 一覧表有
県移22-14	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(十四)	内務部	庶務課	昭和32～48 公営企業(一)
県移22-15	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(十五)	内務部	庶務課	昭和34～48 公営企業(二)
県移22-16	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(十六)	内務部	庶務課	昭和35～41 起債前借
県移22-17	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(十七)	内務部	庶務課	分冊①② 昭和22～34 一時借入金 起債前借 償還済
県移22-18	大正11年度～昭和49年度	県債台帳(十八)	内務部	庶務課	昭和38～45
県移28-1	昭和03年度～昭和16年度	隔離病舎台帳	警察部	衛生課	
県移30-1	昭和05年～昭和18年	耕地整理関係綴(鹿島郡夏海村広浦干拓地区)	内務部	耕地課	分冊①②
県移36-1	昭和11年度	小作争議関係綴(筑波郡高道祖村)	経済部	農林課	筑波郡高道祖村村有地
県移39-1	昭和14年度	中小河川に於ける洪水水位調査横断面図	経済部	土木課	那珂川 涸沼川 藤井川 鉾田川 巴川 園部川 桜川 八間堀川 涸沼前川 恋瀬川 那珂川支流 久慈川支流
県移39-2	昭和14年度	桜川改良工事関係綴	経済部	土木課	分冊①②③
県移40-1	昭和15年度	恋瀬川改良工事関係綴	経済部	土木課	分冊①② 昭和13年洪水時の写真有
県移42-1	昭和17年～昭和36年	小貝川関係綴	経済部	土木課	分冊①②
県移43-1	昭和18年度～昭和26年度	耕地整理関係綴(東茨城郡石崎村馬割耕地整理組合)	経済部	耕地課	
県移44-1	昭和19年度～昭和30年度	教育職員免許関係綴	学務部	教育課	分冊①② 試験検定成績表県規則免許法令研究
県移45-1	昭和20年～昭和26年	施設組合関係綴	経済部	商工課	
県移46-1	昭和21年～昭和27年	例規綴	経済部	農政課	
県移46-2	昭和21年度	農地関係綴	経済部	農政課	
県移46-3	昭和21年～昭和24年	猿島郡中部普通水利組合関係綴	経済部	農政課	原本のコピー 組合設置書類
県移46-4	昭和21年度～昭和32年度	茂宮川改良工事全体計画書綴	土木部	河港課	分冊①②③ 原本コピーを含む 変更計画あ

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移47-1	昭和22年	各種選挙集計表綴	内務部	地方課	4/5知事選挙 4/15知事決戦選挙 4/12参議院議員通常選挙 4/12衆議院議員総選挙 4/30県議会議員総選挙
県移47-2	昭和22年	参議院議員(全国)選挙候補者得票数調査表綴	内務部	地方課	昭和22年4月執行
県移47-3	昭和22年～昭和23年	農地改革資料綴	農地部	農地課	第1号～第50号 第22号欠
県移47-4	昭和22年度	農地調整関係綴	農地部	農地課	附訴願及許可認可関係 猿島地方事務所
県移47-5	昭和22年度	農地売渡関係綴	農地部	農地課	
県移47-6	昭和22年度～昭和23年度	農地委員会関係綴	農地部	農地課	分冊①② 猿島地方事務所
県移47-7	昭和22年～昭和23年	茨城県農地委員会議案綴	農地部	農地課	
県移47-8	昭和22年～昭和23年	茨城県農地委員会議事録綴	農地部	農地課	
県移47-9	昭和22年～昭和26年	岩瀬町農地委員会発信簿綴	農地部	農地課	
県移47-10	昭和22年～昭和26年	岩瀬町農地委員会公示控綴	農地部	農地課	
県移47-11	昭和22年～昭和23年	岩瀬町農地委員会未墾地買収承認書綴	農地部	農地課	農地委員会
県移47-12	昭和22年度～昭和24年度	猿島郡中部農業水利改良事務所関係綴	農地部	農地課	原本のコピー
県移47-13	昭和22年度～昭和23年度	委託事業成績書収支決算書	農地部	耕地課	
県移48-1	昭和23年度	旧宗教法人一覧表	総務部	総務課	
県移48-2	昭和23年度	給与切換関係通牒綴	教育部	学務課	
県移48-4	昭和23年～昭和29年	へい獣処理場台帳	衛生部	公衆衛生課	
県移48-5	昭和23年度～昭和28年度	農地買収計画書並びに買収令書綴	農地部	農地課	
県移48-6	昭和23年～昭和29年	農地関係訴訟事件一覧表綴	農地部	農地課	繫属中
県移48-7	昭和23年～昭和24年	訴願関係綴(一)	農地部	農地課	猿島地方事務所
県移48-8	昭和23年～昭和25年	訴願関係綴(二)	農地部	農地課	猿島地方事務所
県移48-9	昭和23年～昭和28年	訴願裁決関係綴	農地部	農地課	裁決目録
県移48-10	昭和23年度	農地委員会議案綴	農地部	農地課	
県移48-11	昭和23年度	農地委員会議事録綴	農地部	農地課	
県移48-12	昭和23年度～昭和26年度	猿島地方事務所関係綴(農地委員会関係)	農地部	農地課	
県移48-13	昭和23年	未墾地買収計画書綴(軽野村日川地区)	農地部	農地課	農地委員会
県移48-14	昭和23年度～昭和24年度	農地買収関係綴(稲敷郡君原地区)	農地部	開拓課	分冊①②
県移48-15	昭和23年～昭和37年	収去損失補償関係例規綴	農地部	開拓課	分冊①②
県移48-16	昭和23年～昭和25年	最高裁判決書綴	農地部	開拓課	
県移48-17	昭和23年度～昭和25年度	訴訟事件に関する報告書綴	農地部	開拓課	
県移48-18	昭和23年度	建設工事関係綴	農地部	耕地課	
県移48-19	昭和23年度	農地開発建設工事成績書及収支決算書関係綴	農地部	耕地課	
県移49-1	昭和24年度～昭和44年度	健康管理関係例規綴	総務部	総務課	
県移49-2	(昭和24年度)	部隊通称番号一覧表	民生部	世話課	
県移49-3	昭和24年～昭和47年	茨城県自動車整備工業協同組合関係綴	経済部	商工課	
県移49-4	昭和24年度～昭和54年度	発電用水利使用料徴収関係綴	土木部	河港課	分冊①② 昭和14の資料コピー有
県移49-5	昭和24年～昭和42年	農地調整年報関係綴	農地部	農地課	分冊①②
県移49-6	昭和24年度～昭和25年度	出島十ヶ村地区農地開発事業出来形設計書綴	農地部	農地課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移49-7	昭和24年	訴願裁決関係綴	農地部	農地課	裁決済
県移49-8	昭和24年	農地委員会委員選挙関係綴	農地部	農地課	
県移49-9	昭和24年	町村農地委員会委員名簿綴	農地部	農地課	昭和34年8月18日選挙施行
県移49-10	昭和24年～昭和25年	猿島地方事務所関係綴(諸令達書類)	農地部	農地課	
県移49-11	昭和24年度	江戸崎第二代地・奥野第二及代地・君原第四及代地 買収関係綴	農地部	開拓課	
県移49-12	昭和24年度	農地開発建設工事成績書並収支決算書関係綴	農地部	耕地課	
県移50-1	昭和25年～昭和29年	総合開発計画書綴		総合開発審議室	分冊①②
県移50-2	昭和25年	各種選挙集計表	総務部	地方課	参議院通常・補欠選挙, 県教育委員会委員
県移50-3	昭和25年～昭和46年	南町商業協同組合関係綴(水戸市)	経済部	商工課	
県移50-4	昭和25年度～昭和26年度	食糧増産興農推進連盟関係綴	農林部	農務課	
県移50-5	昭和25年度～昭和39年度	涸沼川改良工事全体計画関係綴	土木部	河港課	分冊①②
県移50-6	昭和25年～昭和27年	土地売渡通知書綴(鹿島郡軽野地区)	農地部	農地課	
県移50-7	昭和25年	土地買収登記嘱託書	農地部	農地課	
県移50-8	昭和25年	茨城県農地委員会解散関係綴	農地部	農地課	
県移50-9	昭和25年度～昭和30年度	行政訴訟関係農林省通達綴	農地部	開拓課	
県移50-10	昭和25年度	四等三角測量成果表(磯原)	農地部	開拓課	
県移50-11	昭和25年度～昭和38年度	土地改良事業実績調書綴	農地部	耕地課	
県移50-12	昭和25年度	農地開発建設工事成績書収支決算書綴	農地部	耕地課	
県移50-13	昭和25年度～昭和50年度	教育職員免許状授与権者印関係綴	教育庁	学務課	
県移51-1	昭和26年	県議会創設七十周年記念式典関係綴	議会事務局	調査企画課	
県移51-2	昭和26年	茨城県総合開発計画書(開発計画の部)		総合開発審議室	
県移51-3	昭和26年度～昭和35年度	日本勧業銀行株式関係綴	総務部	財政課	
県移51-4	昭和26年度～昭和27年度	食糧増産興農推進連盟関係綴	農林部	農政課	分冊①②
県移51-5	昭和26年～昭和29年	食料増産興農推進連盟経理関係綴	農林部	農政課	分冊①②
県移51-7	昭和26年度	霞ヶ浦囲繞工事全体計画綴	土木部	河港課	分冊①② 土浦市大岩田地先
県移51-8	昭和26年度	二等多角測量成果表(土浦～石岡)	土木部	都市計画課	
県移51-9	昭和26年度	二等多角測量成果表(下館・協和・大和・出島・土浦)	土木部	都市計画課	
県移51-10	昭和26年～昭和44年	伝染病隔離病舎台帳	衛生部	予防課	
県移51-11	昭和26年～昭和31年	農地法関係例規綴	農地部	農地課	
県移51-12	昭和26年度	訴願裁決関係綴	農地部	開拓課	
県移51-13	昭和26年～昭和30年	猿島地方事務所関係綴(農業委員会関係)	農地部	農地課	
県移51-14	昭和26年～昭和53年	東茨城郡吉田第二地区未墾地所管換事件関係綴	農地部	開拓課	
県移51-15	昭和26年度	二等水準測量成果表(土浦～石岡)	農地部	開拓課	
県移51-16	昭和26年度	四等三角測量成果表	農地部	開拓課	
県移51-17	昭和26年度	四等三角測量成果表(真壁)	農地部	開拓課	
県移51-19	昭和26年度～昭和55年度	法令等通知通達関係綴	教育庁	学務課	
県移52-1	昭和27年度	宗教法人認証申請処理簿	総務部	総務課	
県移52-2	昭和27年度～昭和48年度	宗教法人認証申請処理簿	総務部	総務課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移52-3	昭和27年～昭和40年	児童福祉関係基本通牒綴	民生部	母子福祉課	
県移52-4	昭和27年～昭和33年	人事関係例規綴	農林部	林務課	
県移52-5	昭和27年度	中小河川小野川改修事業全体計画変更認可申請書(一)	土木部	河港課	
県移52-6	昭和27年度	中小河川小野川改修事業全体計画変更認可申請書(二)	土木部	河港課	
県移52-7	昭和27年度～昭和43年度	勤行川(五行川)改良工事全体計画書綴	土木部	河港課	分冊①②
県移52-8	昭和27年～昭和41年	水位流量年表綴	土木部	河港課	
県移52-9	昭和27年度	二等多角測量成果表(結城・真壁・水海道・土浦)	土木部	都市計画課	
県移52-10	昭和27年～昭和31年	農地法関係例規綴	農地部	農地課	分冊①②
県移52-11	昭和27年度～昭和29年度	農地改革に関する訴訟事件判決書等綴	農地部	農地課	分冊①②
県移52-13	昭和27年	石崎村農業委員会資料綴(涸沼干拓)	農地部	農地課	
県移52-14	昭和27年度	猿島地方事務所関係綴(農地改革予算関係)	農地部	農地課	
県移52-15	昭和27年～昭和38年	未墾地買収処分取消請求事件等裁判関係綴	農地部	開拓課	
県移52-16	昭和27年度～昭和31年度	水準測量成果表関係綴	農地部	開拓課	
県移52-17	昭和27年度	四等三角測量成果表(茨城県)	農地部	開拓課	
県移52-18	昭和27年度	土地売渡通知書綴	農地部	耕地課	
県移52-19	昭和27年度	建設工事成績書及び収支決算書綴	農地部	耕地課	
県移53-1	昭和28年度	茨城県議会史編さん収集資料目録	議会事務局	調査課	
県移53-2	昭和28年度～昭和30年度	過年度税外収入滞納金調定減額取消関係綴	総務部	財政課	
県移53-4	昭和28年～昭和30年	条例制定関係綴	衛生部	公衆衛生課	分冊①②
県移53-5	昭和28年度	伝染病院隔離病舎調査表綴	衛生部	予防課	
県移53-6	昭和28年～昭和31年	療養所契約関係綴	衛生部	予防課	
県移53-7	昭和28年度～昭和46年度	茨城米穀精麦協同組合関係綴	商工部	振興課	
県移53-8	昭和28年～昭和46年	協同組合水戸白菊商店会関係綴	商工部	振興課	
県移53-9	昭和28年～昭和51年	結城皮革工業協同組合関係綴	商工部	振興課	
県移53-10	昭和28年度～昭和30年度	農地法関係通達等綴	農地部	農地課	
県移53-11	昭和28年度	農地法施行細則案	農地部	農地課	
県移53-12	昭和28年度～昭和55年度	農地法関係訴請受理簿	農地部	農地課	
県移53-13	昭和28年度～昭和43年度	訴状等写送付原議綴	農地部	農地課	
県移53-14	昭和28年度	涸沼干拓地買収関係綴	農地部	農地課	
県移53-15	昭和28年度～昭和32年度	基準点成果簿保管台帳	農地部	農地課	
県移53-16	昭和28年度～昭和32年度	開拓地収去補償関係綴	農地部	開拓課	
県移53-17	昭和28年度	未墾地買収関係綴(東茨城郡小川地区)	農地部	開拓課	分冊①②
県移53-18	昭和28年度～昭和39年度	判決書綴	農地部	開拓課	分冊①② 高等・地方・簡易裁判所
県移53-19	昭和28年度～昭和41年度	訴願・行政不服審査請求処理簿	農地部	開拓課	
県移53-20	昭和28年度～昭和43年度	四等三角測量成果表(水戸市・東茨城郡・那珂郡・鹿島郡)	農地部	開拓課	
県移53-21	昭和28年度	四等三角測量成果表(行方郡・鹿島郡)	農地部	開拓課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移53-22	昭和28年度	出島地区建設工事出来形設計書	農地部	耕地第一課	
県移53-23	昭和28年度～昭和35年度	霞ヶ浦左岸局部改良工事全体計画書綴	土木部	河港課	分冊①②
県移53-24	(昭和28年)	霞ヶ浦左岸圍繞堤改良工事全体計画書綴	土木部	河港課	新治郡上大津村・下大津村地先
県移53-25	昭和28年度	小貝川下流地域総合開発計画関係綴	土木部	河港課	
県移53-26	昭和28年～昭和33年	廃川廃堤及び県界調査関係綴	土木部	河港課	鬼怒川 旧権現堂川 茨城埼玉両県境界再確認書有
県移53-27	昭和28年度	二等多角測量成果表(東茨城郡・那珂郡・鹿島郡)	土木部	都市計画課	
県移53-28	昭和28年度	二等多角測量成果表(行方郡)	土木部	都市計画課	
県移54-1	昭和29年～昭和36年	地方職員共済組合不動産投資住宅建設関係綴	総務部	総務課	
県移54-2	昭和29年度～昭和48年度	へい獣化製場台帳	衛生部	公衆衛生課	
県移54-3	昭和29年	茨城県立結核療養所新築工事関係綴	衛生部	予防課	
県移54-4	昭和29年	茨城県立結核療養所設計図	衛生部	予防課	
県移54-5	昭和29年度～昭和32年度	貸金営業関係綴	商工部	振興課	
県移54-6	昭和29年度～昭和32年度	興農特別賞関係綴	農林部	農務課	
県移54-7	昭和29年度～昭和31年度	茨城県興農推進連盟出張命令簿	農林部	農務課	
県移54-9	昭和29年～昭和39年	農地買収処分取消請求事件判決書綴	農地部	農地課	分冊①②
県移54-10	昭和29年度	開拓適地調査報告書	農地部	開拓課	
県移54-11	昭和29年度～昭和34年度	訴願裁決書綴	農地部	開拓課	
県移54-12	昭和29年度～昭和38年度	農地買収処分無効確認関係綴	農地部	開拓課	
県移54-13	昭和29年～昭和40年	未墾地買収処分訴願等裁判関係綴	農地部	開拓課	
県移54-14	昭和29年～昭和37年	未墾地等買収取消訴願関係綴(八郷町恋瀬・葦穂地区)	農地部	開拓課	八郷町恋瀬地区・葦穂地区
県移54-15	昭和29年	未墾地等買収に対する意見書綴(東茨城郡小川地区)	農地部	開拓課	
県移54-16	昭和29年度	測標水準測量成果表	農地部	開拓課	
県移54-17	昭和29年～昭和38年	小貝川改修関係綴	土木部	河港課	
県移54-18	昭和29年～昭和31年	那珂川河川敷地公用廃止関係綴	土木部	河港課	大場村・沢山村地先
県移54-19	昭和29年	小貝川水位流量表	土木部	河港課	
県移54-20	昭和29年度～昭和52年度	地方交付税算定資料綴	土木部	河港課	分冊①②
県移54-21	昭和29年度	二等多角測量成果表(東茨城郡・西茨城郡)	土木部	都市計画課	
県移54-22	昭和29年度～昭和49年度	二等多角測量成果表(石岡市・東茨城郡・西茨城郡・新治郡)	土木部	都市計画課	
県移54-23	昭和29年度	二等多角測量成果表(猿島郡)	土木部	都市計画課	
県移54-24	昭和29年度	二等多角測量成果表(五霞村地方)	土木部	都市計画課	
県移55-1	昭和30年度	税外収入滞納処分執行停止決議関係綴	総務部	財政課	
県移55-2	昭和30年度	保安施設地区指定申請書	農林部	林業課	
県移55-3	昭和30年度～昭和36年度	採石地帯関係綴	農林部	林業課	
県移55-4	昭和30年度～昭和53年度	農地改革訴訟事件一覧表綴	農地部	農地課	昭和22～29の写有
県移55-5	昭和30年～昭和33年	腐朽測標処理関係綴	農地部	農地課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移55-6	昭和30年～昭和35年	那珂湊河口(港湾)調査資料綴	農地部	農地課	分冊①②
県移55-7	昭和30年～昭和47年	訴訟事件報告関係綴	農地部	開拓課	分冊①②
県移55-8	昭和30年度	四等三角測量成果表(勝田市・日立市・久慈郡・那珂郡)	農地部	開拓課	
県移55-9	昭和30年度	四等三角測量成果表(猿島郡)	農地部	開拓課	
県移55-10	昭和30年～昭和31年	河川用地処分関係綴	土木部	河港課	分冊①②③④
県移55-11	昭和30年度	二等多角測量成果表(勝田市・那珂郡)	土木部	都市計画課	
県移55-12	昭和30年度	二等多角測量成果表(結城市・猿島郡・古河市・下都賀郡)	土木部	都市計画課	
県移56-1	昭和31年度～昭和34年度	県庁舎等管理関係綴	総務部	総務課	
県移56-2	昭和31年～昭和37年	各種条例規則改正関係綴	衛生部	環境衛生課	分冊①②③
県移56-3	昭和31年	へい獣化製場台帳	衛生部	環境衛生課	魚類
県移56-4	昭和31年～昭和34年	伝染病隔離病舎廃止台帳	衛生部	予防課	
県移56-5	昭和31年度	ラムネびん詰機登録関係綴	商工水産部	商政観光課	
県移56-6	昭和31年～昭和46年	常総綿スフ織物調整組合関係綴	商工水産部	商政観光課	
県移56-9	昭和31年度～昭和43年度	特別失業対策治山事業決算書綴	農林部	林業課	
県移56-10	昭和31年度～昭和36年度	耕土培養事業関係綴	農林部	農業改良事務局	
県移56-11	昭和31年度	例規綴	農地部	農地課	分冊①②
県移56-12	昭和31年～昭和38年	農民運動・地主団体関係綴	農地部	農地課	
県移56-13	昭和31年～昭和46年	農事調定結果報告書綴	農地部	農地課	分冊①②③
県移56-14	昭和31年度～昭和39年度	訴訟委任事件報告書綴	農地部	農地課	
県移56-15	昭和31年度～昭和38年度	訴訟関係綴	農地部	営農課	
県移56-16	昭和31年度～昭和38年度	農地買収等取消請求事件関係綴	農地部	営農課	岩佐鉄工所含む
県移56-17	昭和31年～昭和38年	農業用許可土地占用調査綴	農地部	耕地第一課	
県移56-18	昭和31年度	千歳橋上部構造設計関係綴	土木部	道路課	
県移56-19	昭和31年	源氏川通り普通財産引継申請関係綴	土木部	河港課	
県移56-20	昭和31年～昭和44年	桜川筋普通財産譲与申請関係綴	土木部	河港課	
県移56-21	昭和31年度～42年度	多賀土地区画整理事業関係綴	土木部	計画課	
県移57-1	昭和32年	行政考査関係綴	総務部	財政課	
県移57-3	昭和32年～昭和49年	土浦綿スフ織物工業組合関係綴	商工水産部	商政観光課	
県移57-4	昭和32年度～昭和33年度	茨城県興農推進連盟事業関係綴	農林部	農業組織課	
県移57-5	昭和32年～昭和37年	事務引継書綴	農林部	林業課	
県移57-6	昭和32年～昭和35年	職員調関係綴	農林部	林業課	
県移57-7	昭和32年度～昭和36年度	行政考査会計検査関係綴	農林部	林業課	分冊①②
県移57-8	昭和32年度～昭和36年度	例規綴	農地部	農地課	分冊①②
県移57-9	昭和32年～昭和48年	農地調整係事務分掌関係綴	農地部	農地課	
県移57-10	昭和32年～昭和34年	損失補償利子補給関係綴	農地部	営農課	
県移57-11	昭和32年度～昭和43年度	訴訟委任事件報告書綴	農地部	営農課	
県移57-12	昭和32年	渡里地区・武田地区関係訴願必要書類綴	農地部	営農課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移57-13	昭和32年度	四等三角測量成果表(那珂郡)	農地部	営農課	
県移57-14	昭和32年度	神宮橋河川工作物協議書関係綴	土木部	道路課	
県移57-15	昭和32年度～昭和36年度	取水量流量日表	土木部	河港課	
県移57-16	昭和32年度	利根川水系流域調書	土木部	河港課	
県移57-17	昭和32年	水利使用許可関係綴(巴川)	土木部	河港課	巴川 文書コピー
県移57-18	昭和32年～昭和48年	霞ヶ浦筋河川敷公用廃止関係綴	土木部	河港課	分冊①②③④ 牛堀町永山
県移57-19	昭和32年度	二等多角測量成果表(水海道市・猿島郡)	土木部	計画課	
県移58-1	昭和33年～昭和37年	職業訓練課引継簿関係綴	民生部	職業安定課	
県移58-3	昭和33年～昭和48年	修学資金関係綴	衛生部	保健予防課	
県移58-4	昭和33年～昭和47年	中小企業等協同組合関係綴(水戸中央青果協同組合)	商工水産部	商政観光課	
県移58-5	昭和33年	中小企業等協同組合関係綴(下妻地方家畜商業協同組合)	商工水産部	商政観光課	
県移58-6	昭和33年度	特殊代行開墾建設事業変更設計書(出島地区)	農地部	農地課	昭和21年度着手
県移58-7	昭和33年～昭和38年	農地法・農地関係綴	農地部	農地課	分冊①②
県移58-8	昭和33年	農地法第三条の規定による許可申請書綴(笠間市・西茨城郡)	農地部	農地課	
県移58-9	昭和33年～昭和53年	農地買収売渡処分無効確認事件関係綴	農地部	農地課	分冊①②③ 原告檜村すい外5名
県移58-12	昭和33年度～昭和55年度	農地買収並びに売渡処分無効確認請求事件関係綴	農地部	農地課	分冊①② 勝田市武田岩佐鉄工所
県移58-13	昭和33年度～昭和55年度	農地買収並びに売渡処分無効確認請求事件関係綴	農地部	農地課	勝田市武田岩佐鉄工所 証人調書
県移58-14	昭和33年～昭和39年	訴状写送付原議綴	農地部	農地課	
県移58-15	昭和33年～昭和51年	訴訟委任原議綴	農地部	農地課	
県移58-16	昭和33年度	定期監査書類綴	農地部	農地課	昭和33年9月実施
県移58-17	昭和33年～昭和34年	営農改善資金損失補償利子補給関係綴	農地部	営農課	
県移58-18	昭和33年度	代行干拓並びに干拓付帯事業計画承認関係綴	農地部	耕地第一課	
県移58-19	昭和33年度～昭和38年度	霞ヶ浦総合利水調査報告書綴	農地部	耕地第一課	
県移58-20	昭和33年度	集団換地実施地区別調書	農地部	耕地第二課	
県移58-21	昭和33年度	集団換地実施書(上野第二)	農地部	耕地第二課	
県移58-22	昭和33年度	集団換地実施書(大谷)	農地部	耕地第二課	
県移58-23	昭和33年度	集団換地実施書(押切)	農地部	耕地第二課	
県移58-24	昭和33年度	河川水位流量年表綴(鬼怒川・小貝川)	土木部	河港課	鬼怒川、小貝川 資料収集年次昭和26～33
県移58-25	昭和33年度～昭和34年度	鬼怒川・小貝川水位流量表	土木部	河港課	農地部長宛文書有
県移58-26	昭和33年～昭和48年	旧準用河川桂川河川区域廃止・引継関係綴	土木部	河港課	
県移58-27	昭和33年度～昭和40年度	準用河川霞ヶ浦公用廃止関係綴	土木部	河港課	
県移58-28	昭和33年度～昭和45年度	準用河川飯沼川公用廃止関係綴	土木部	河港課	岩井町神田山・土手外
県移58-29	昭和33年度	二等多角測量成果表(玉造地区)	土木部	計画課	
県移58-30	昭和33年度	二等多角測量成果表(結城郡)	土木部	計画課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移59-1	昭和34年度	標準「都道府県議会会議規則」同「同委員会条例」の問題点と研究事項に対する参与会検討経過録	議会事務局	議事課	
県移59-2	昭和34年度	伝染病隔離病舎関係綴	衛生部	保健予防課	
県移59-3	昭和34年～昭和37年	全国麻糸布卸商業組合関係綴	商工水産部	商政観光課	
県移59-4	昭和34年度	茨城県興農推進連盟関係綴	農林部	農業組織課	
県移59-5	昭和34年度～昭和44年度	林地荒廃防止施設災害復旧事業決算書綴	農林部	林業課	
県移59-6	昭和34年度	鬼怒総合小貝川桜川水位流量表綴	農地部	農地課	
県移59-7	昭和34年度	代行建設事業附帯工事設計書(出島地区)	農地部	農地課	
県移59-8	昭和34年度～昭和35年度	農地調整関係通達原議綴	農地部	農地課	
県移59-9	昭和34年～昭和46年	訴訟関係綴	農地部	農地課	分冊①②
県移59-10	昭和34年～昭和43年	判決書綴	農地部	農地課	分冊①②
県移59-11	昭和34年	農地法八十四条の規定による農地及び採草放牧地に関する申告書綴(内原村)	農地部	農地課	
県移59-12	昭和34年～昭和36年	山林及び宅地買収並びに売渡処分無効確認所有権移転登記手続請求事件関係綴	農地部	農地課	分冊①②
県移59-13	昭和34年	多賀郡櫛形村農業委員会議事録綴	農地部	農地課	
県移59-14	昭和34年度	決算審査関係綴	農地部	農地課	
県移59-15	昭和34年度	定期監査資料綴	農地部	農地課	昭和35年10月施行
県移59-16	昭和34年度	損補請求書綴	農地部	営農課	30年干害 28年冷害 28年凍霜害
県移59-17	昭和34年度	二等水準測量点の記(霞ヶ浦地区)	農地部	営農課	
県移59-18	昭和34年～昭和46年	高浜入干拓事業関係綴	農地部	耕地第一課	玉造漁協裁判関係
県移59-19	昭和34年～昭和42年	国営干拓事業高浜入地区漁業補償関係綴(一)	農地部	耕地第一課	
県移59-20	昭和34年～昭和42年	国営干拓事業高浜入地区漁業補償関係綴(二)	農地部	耕地第一課	
県移59-21	昭和34年～昭和35年	湖岸堤防補強事業関係綴	農地部	耕地第一課	
県移59-22	昭和34年度～昭和47年度	団体営土地改良事業実績報告書綴	農地部	耕地第二課	ほ場整備、畑地総合、同和対策
県移59-23	昭和34年度	集団換地実施地区別調書	農地部	耕地第二課	
県移59-24	昭和34年度	集団換地実施書(千波湖)	農地部	耕地第二課	
県移59-25	昭和34年度	集団換地実施書(小場江堰)	農地部	耕地第二課	
県移59-26	昭和34年度	集団換地実施書(里江堰)	農地部	耕地第二課	
県移59-27	昭和34年度	集団換地実施書(清明川)	農地部	耕地第二課	
県移59-28	昭和34年度	集団換地実施書(酒寄)	農地部	耕地第二課	
県移59-29	昭和34年度	集団換地実施書(八間堀川沿岸)	農地部	耕地第二課	
県移59-30	昭和34年度	集団換地実施書(岡堰寺原)	農地部	耕地第二課	
県移59-31	昭和34年度	集団換地実施書(岡堰山王)	農地部	耕地第二課	
県移59-32	昭和34年度～昭和50年度	土地収用法例規綴	土木部	監理課	
県移59-33	昭和34年度～昭和38年度	表彰関係綴	土木部	監理課	分冊①②
県移59-34	昭和34年度～昭和46年度	決算調書(土木部)	土木部	監理課	分冊①②
県移59-35	昭和34年度	鉾田川改修事業関係綴	土木部	河港課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移59-36	昭和34年	鬼怒川南部地区に於ける水源流量の利用についての解析	土木部	河港課	常総土地改良事務所作成
県移59-37	昭和34年度～昭和35年度	小貝川・桜川水位流量表	土木部	河港課	
県移59-38	昭和34年	利根川開発水資源基本調査取水量調査成果表	土木部	河港課	
県移59-39	昭和34年	増水時水位表(長井戸沼土地改良区)	土木部	河港課	大正14年～昭和34年の水位表
県移59-40	昭和34年度	茂宮川河川敷公用廃止関係綴	土木部	河港課	分冊①②③
県移59-41	昭和34年度～昭和38年度	県立学校建築工事集計表	土木部	建築課	
県移60-1	昭和35年～昭和37年	茨城県財政調整資金台帳	総務部	財政課	
県移60-3	昭和35年	畜舎家禽舎設置許可申請書綴	衛生部	環境衛生課	
県移60-4	昭和35年～昭和36年	へい獣許可申請書綴	衛生部	環境衛生課	
県移60-5	昭和35年度	へい獣処理場許可申請書綴	衛生部	環境衛生課	
県移60-6	昭和35年度～昭和49年度	東部撚糸工業組合関係綴	商工水産部	商政観光課	分冊①②
県移60-7	昭和35年度～昭和46年度	八郷製材協同組合関係綴	商工水産部	商政観光課	
県移60-8	昭和35年度～昭和46年度	要項等関係綴	農林部	林政課	
県移60-9	昭和35年～昭和42年	種きじ貸付関係綴	農林部	林政課	
県移60-10	昭和35年度～昭和42年度	民有林人工造成林進捗状況関係綴	農林部	林業課	
県移60-11	昭和35年～昭和44年	健康管理関係綴	農林部	農業改良事務局	
県移60-12	昭和35年度～昭和36年度	定期監査関係綴	農林部	農政企画室	
県移60-13	昭和35年度～昭和48年度	一筆地調査関係往復文書綴	農地部	農地課	
県移60-14	昭和35年～昭和43年	農地売渡処分確認並びに土地所有権移転登記手続事件関係綴	農地部	農地課	田山三重郎取消関係原議綴 自作農創設特別措置特別会計国有財産関係書類
県移60-15	昭和35年～昭和44年	農地及び未墾地関係行政不服審査関係綴	農地部	農地課	
県移60-16	昭和35年度	決算審査資料綴	農地部	農地課	
県移60-17	昭和35年度	定期監査資料綴	農地部	農地課	
県移60-18	昭和35年度	損失補償関係綴	農地部	営農課	
県移60-19	昭和35年～昭和49年	農事調停関係綴(大貫地区)	農地部	営農課	
県移60-20	昭和35年度	農林大臣訴願裁決取消請求事件関係綴(一)	農地部	営農課	麻生・太田・小高・行方地区覚書
県移60-21	昭和35年度	農林大臣訴願裁決取消請求事件関係綴(二)	農地部	営農課	和解関係
県移60-22	昭和35年度～昭和38年度	所有権移転登記手続関係綴	農地部	営農課	浅野巧関係
県移60-23	昭和35年	買戻に対する訴願関係綴(谷田部地区)	農地部	営農課	
県移60-24	昭和35年度	土地所有権確認等調停事件綴	農地部	営農課	
県移60-25	昭和35年～昭和41年	要土地改良地区精査実施関係綴	農地部	耕地第一課	
県移60-26	昭和35年度	第10回利根川農業水利調整協議会関係綴	農地部	耕地第一課	
県移60-27	昭和35年	中小河川桜川上流改良工事全体計画関係綴	土木部	河川課	
県移60-28	昭和35年度～昭和43年度	定期監査調書綴	土木部	港湾課	
県移60-29	昭和35年～昭和44年	給与関係例規綴	教育庁	学務課	分冊①②
県移60-30	昭和35年	へき地学校関係綴	教育庁	学務課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移61-2	昭和36年度～昭和38年度	那珂川広域水道関係綴		総合開発事務局	日立市上水道第四期拡張計画概要(昭和35年)有
県移61-3	昭和36年度	県庁舎等管理関係綴	総務部	総務課	
県移61-4	昭和36年度	実態調査に基づく県有地測量計算書綴	総務部	管財課	
県移61-5	昭和36年度～昭和40年度	基本通牒綴	民生部	母子福祉課	
県移61-6	昭和36年度	へい獣関係綴	衛生部	環境衛生課	
県移61-9	昭和36年度～昭和47年度	隔離病舎組合規約・診療委託契約書関係綴	衛生部	保健予防課	
県移61-10	昭和36年～昭和46年	鹿島基貝工業協同組合関係綴	商工労働部	商工振興課	
県移61-11	昭和36年～昭和40年	全日本既製服製造工業組合連合会関係綴	商工労働部	商工振興課	
県移61-12	昭和36～40年度	県有財産関係綴	商工労働部	観光課	
県移61-13	昭和36年度～昭和42年度	褒賞関係綴	農林水産部	農業改良課	
県移61-14	昭和36年～昭和37年	農事調停関係綴	農地部	農地課	
県移61-15	昭和36年度	旧農地調整法第十七条の規定による申告書関係綴	農地部	農地課	
県移61-16	昭和36年度～昭和37年度	定期監査関係綴	農地部	農地課	
県移61-17	昭和36年度～昭和45年度	農業移住事業補助金関係綴	農地部	拓務課	分冊①②
県移61-18	昭和36年度	入植増反関係綴	農地部	拓務課	
県移61-19	昭和36年～昭和42年	被害開拓農家営農改善資金損失補償関係綴	農地部	拓務課	
県移61-21	昭和36年～昭和45年	農地改革訴訟事件委託料支払契約書関係綴	農地部	拓務課	
県移61-22	昭和36年～昭和37年	未墾地関係追訴願弁明書関係綴	農地部	拓務課	
県移61-23	昭和36年～昭和47年	未墾地買収処分取消請求事件関係綴	農地部	拓務課	分冊①②③④
県移61-24	昭和36年度	二等多角測量成果表(八千代地区)	農地部	拓務課	
県移61-25	昭和36年～昭和51年	特別議案原議綴	農地部	耕地第一課	
県移61-26	昭和36年度～昭和53年度	後進地域開発特例補助関係綴	農地部	耕地第一課	分冊①②
県移61-27	昭和36年度～昭和44年	代行干拓事業実施設計書承認関係綴	農地部	耕地第一課	
県移61-28	昭和36年～昭和42年	茨城県土地改良調整審議会関係綴	農地部	耕地第二課	
県移61-29	昭和36年度～昭和40年度	土地改良区再建整備対策関係綴	農地部	耕地第二課	
県移61-31	昭和36年	鬼怒川水系地区調査成績書	土木部	河川課	
県移61-32	昭和36年度	工事台帳	土木部	建築課	
県移61-33	昭和36年度	第二回霞ヶ浦水道組合議会定例会会議録第一号		霞ヶ浦水道組合 議会事務局	
県移61-34	昭和36年度	第三回霞ヶ浦水道組合議会定例会会議録第一号		霞ヶ浦水道組合 議会事務局	付録協議会会議録
県移62-1	昭和37年度～昭和41年度	利根川水系水資源開発基本計画関係綴		総合開発事務局	分冊①②
県移62-2	昭和37年度～昭和49年度	総和町開発公社関係綴		総合開発事務局	分冊①②
県移62-3	昭和37年度～昭和42年度	積立金穀有価証券等台帳	総務部	財政課	
県移62-4	昭和37年度	県有地測量計算書	総務部	管財課	
県移62-5	昭和37年～昭和49年	日本燃糸工業組合連合会関係綴	商工労働部	商工振興課	
県移62-6	昭和37年～昭和47年	下妻地方家畜商業協同組合関係綴	商工労働部	商工振興課	
県移62-7	昭和37年	全国麻織物工業組合関係綴	商工労働部	商工振興課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移62-8	昭和37年～昭和39年	筑波ユースホステル建築工事関係綴	商工労働部	観光課	分冊①②
県移62-9	昭和37年度～昭和50年度	事務引継関係綴	商工労働部	職業安定課	
県移62-10	昭和37年度	農林振興協議会賞関係綴	農林水産部	農政課	
県移62-11	昭和37年度	国有林治山長期計画関係綴	農林水産部	林業課	
県移62-12	昭和37年度～昭和47年度	後進地域開発法補助金申請書綴	農林水産部	林業課	
県移62-13	昭和37年～昭和39年	農地法等事務処理関係綴	農地部	農地課	
県移62-14	昭和37年～昭和48年	調停委員名簿綴	農地部	農地課	水戸地方裁判所
県移62-15	昭和37年度	決算審査関係綴	農地部	農地課	
県移62-16	昭和37年度	定期監査資料綴	農地部	農地課	
県移62-17	昭和37年～昭和46年	行政不服申立関係例規綴	農地部	拓務課	分冊①②
県移62-18	昭和37年～昭和47年度	未墾地関係訴訟事件報告綴	農地部	拓務課	
県移62-19	昭和37年度	開拓財産売渡関係綴(北浦村)	農地部	拓務課	
県移62-20	昭和37年度～昭和38年度	四等三角・二等多角測量成果表	農地部	拓務課	
県移62-21	昭和37年～昭和39年	鉱害復旧事業台帳	農地部	耕地第一課	
県移62-22	昭和37年度～昭和56年度	利水現況調査(溜池)報告書関係綴	農地部	耕地第一課	
県移62-23	昭和37年	国営土地改良事業代行開墾建設工事全体変更設計書関係綴	農地部	耕地第一課	
県移62-24	昭和37年～昭和42年	代行干拓建設関係綴(余郷地区)	農地部	耕地第一課	
県移62-25	昭和37年～昭和44年度	高浜入干拓漁業権関係綴	農地部	耕地第一課	
県移62-26	昭和37年度～昭和56年度	利根川荒川水系における水資源開発基本計画関係綴	農地部	耕地第一課	分冊①②
県移62-27	昭和37年度～昭和38年度	霞ヶ浦流況調査報告書綴	土木部	河川課	
県移62-28	昭和37年～昭和47年	中小河川小野川改良工事第一回変更認可設計書	土木部	河川課	
県移62-29	昭和37年度～昭和52年度	大洗港・日立港湾整備事業起債台帳	土木部	港湾課	
県移62-30	昭和37年度	工事台帳	土木部	建築課	
県移62-31	昭和37年度	県立学校営繕工事台帳	土木部	建築課	
県移62-32	昭和37年度	茨城県理科教育センター建設工事設計変更工事設計書綴	土木部	建築課	
県移63-1	昭和38年	知事就任関係綴		秘書広聴課	
県移63-2	昭和38年～昭和41年	知事あいさつ原稿綴		秘書広聴課	
県移63-3	昭和38年～昭和42年	総合開発審議会関係綴		総合開発事務局	分冊①②
県移63-5	昭和38年～昭和43年	財団法人大子町開発公社設立許可申請書綴		総合開発事務局	
県移63-6	昭和38年度～昭和41年度	開発公社業務運営研究会関係綴	企画開発部	開発課	分冊①②
県移63-7	昭和38年度～昭和42年度	青少年相談員関係綴	民生部	母子福祉課	
県移63-8	昭和38年度～昭和48年度	青少年相談員関係綴	民生部	母子福祉課	
県移63-9	昭和38年度～昭和41年度	興業及び図書等の推奨・指定等通知関係綴	民生部	母子福祉課	
県移63-10	昭和38年度～昭和47年度	母子保健関係綴	衛生部	保健予防課	
県移63-11	昭和38年度～昭和51年度	商工団体成立・解散書留簿	商工労働部	商政課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移63-12	昭和38年～昭和39年	茨城県農林水産振興協議会関係綴	農林水産部	農政課	
県移63-13	昭和38年度	特別賞交付関係綴	農林水産部	農政課	
県移63-15	昭和38年度～昭和54年度	大日本農会農事功労者表彰関係綴	農林水産部	蚕糸課	
県移63-16	昭和38年度	定期監査関係綴	農林水産部	企画課	
県移63-17	昭和38年	例規綴	農地部	農地課	
県移63-18	昭和38年～昭和42年	例規綴	農地部	農地課	分冊①②
県移63-20	昭和38年～昭和41年	農地買収無効確認請求事件関係綴(一)	農地部	農地課	水戸市元吉田町一里塚
県移63-21	昭和38年～昭和41年	農地買収無効確認請求事件関係綴(二)	農地部	農地課	大野之江事件
県移63-22	昭和38年～昭和45年	農地配分調停関係綴(日川干拓地区)	農地部	農地課	神栖村(旧軽野村)
県移63-23	昭和38年	農地法外調定事件関係綴	農地部	農地課	大子町下金沢
県移63-24	昭和38年度	定期監査資料綴	農地部	農地課	
県移63-25	昭和38年度～昭和54年度	海外移住者壮行会関係綴	農地部	拓務課	
県移63-26	昭和38年度～昭和54年度	海外移住婦人ホーム綴	農地部	拓務課	
県移63-27	昭和38年度～昭和39年度	開拓者資金融通法に基づく貸付金債務確認書等綴	農地部	拓務課	
県移63-28	昭和38年～昭和45年	国有地処分訴訟関係綴	農地部	拓務課	
県移63-29	昭和38年～昭和43年	農地法未墾地関係訴訟判決書綴	農地部	拓務課	
県移63-30	昭和38年度	未墾地買収処分訴訟願裁決取消請求事件関係綴	農地部	拓務課	麻生町行方
県移63-31	昭和38年度～昭和47年度	土地所有権確認等請求事件関係綴	農地部	拓務課	牛久町 1267号
県移63-32	昭和38年	県営補助干拓事業全体実施設計書綴(羽賀沼地区)	農地部	耕地第一課	分冊①②
県移63-33	昭和38年度～昭和47年度	県営補助干拓事業全体変更設計書(羽賀沼地区)	農地部	耕地第一課	
県移63-34	昭和38年度～昭和39年度	高浜入干拓関係綴	農地部	耕地第一課	分冊①②
県移63-42	昭和38年～昭和51年	神立・高浜間恋瀬川橋梁改修工事関係綴	土木部	河川課	分冊①②
県移63-43	昭和38年度～昭和39年度	準用河川桜川公用廃止関係綴	土木部	河川課	真壁町椎尾、明野町宮後
県移63-44	昭和38年度～昭和47年度	準用河川新利根川公用廃止関係綴	土木部	河川課	新利根村大字柴崎
県移63-45	昭和38年度	工事台帳	土木部	建築課	
県移64-1	昭和39年度～昭和41年度	市町村開発事業関係綴	企画開発部	開発課	北茨城市、岩瀬町、大宮町
県移64-2	昭和39年度～昭和46年度	鹿島砂採取協同組合に係る覚書・確認書関係綴	企画開発部	鹿島開発第二課	分冊①② 倉持砂利転関係
県移64-3	昭和39年～昭和42年	浄水場関係綴	衛生部	環境衛生課	
県移64-4	昭和39年度	千波公園事業計画書等綴	商工労働部	観光課	
県移64-5	昭和39年度	農林水産振興協議会特別賞交付関係綴	農林水産部	農政課	
県移64-6	昭和39年度～昭和44年度	知事等ほう賞関係綴	農林水産部	蚕糸課	
県移64-7	昭和39年度	定期監査関係綴	農林水産部	構造改善課	
県移64-8	昭和39年度	定期監査資料	農林水産部	構造改善課	
県移64-9	昭和39年～昭和50年	茨城県国土調査費負担金交付要項関係綴	農地部	農地課	
県移64-10	昭和39年度～昭和44年度	不服審査請求関係綴	農地部	農地課	
県移64-11	昭和39年度～昭和42年度	不動産登記抹消請求事件関係綴	農地部	農地課	
県移64-12	昭和39年度	農地法に基づく土地売渡関係綴	農地部	農地課	
県移64-13	昭和39年度	農地買収無効確認請求事件関係綴	農地部	農地課	
県移64-14	昭和39年度～昭和54年度	行政不服審査請求書関係綴	農地部	農地課	分冊①② 国分商店

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移64-15	昭和39年度	定期監査決算審査資料綴	農地部	農地課	
県移64-16	昭和39年	土地所有権移転登記嘱託書・土地登記抹消嘱託書綴	農地部	拓務課	
県移64-17	昭和39年度	訴願関係綴	農地部	拓務課	
県移64-18	昭和39年～昭和42年	未墾地等訴訟内容調査関係綴	農地部	拓務課	
県移64-19	昭和39年度	高浜入干拓背後地域調査報告書	農地部	耕地第一課	
県移64-20	昭和39年度～昭和49年度	陳情書綴	農地部	耕地第一課	
県移64-21	昭和39年度～昭和51年度	湛水防除事業関係綴	農地部	耕地第二課	分冊①②
県移64-22	昭和39年度	栄典関係綴	土木部	監理課	
県移64-23	昭和39年度	鹿島地区交通体系調査	土木部	道路建設課	茨城県委託報告書(早稲田大学作成)コピー
県移64-24	昭和39年～昭和44年	例規通達綴	土木部	河川課	廃川敷地・所管財産・公有財産
県移64-25	昭和39年～昭和42年	霞ヶ浦水需給計画関係綴	土木部	河川課	
県移64-26	昭和39年度	鬼怒川・田川水位流量表	土木部	河川課	
県移64-27	昭和39年度～昭和42年度	準用河川山田川公用廃止関係綴	土木部	河川課	北浦村中根譲与申請中
県移64-28	昭和39年度～昭和45年度	海岸保全区域・保全施設・指定調査費関係綴	土木部	河川課	
県移64-29	昭和39年度	工事台帳	土木部	建築課	
県移64-30	昭和39年～昭和50年	工事調書関係綴	土木部	建築課	分冊①②
県移64-31	昭和39年度	学校営繕工事台帳	土木部	建築課	
県移64-32	昭和39年	霞ヶ浦水道組合議会協議会録第一号		霞ヶ浦水道組合 議会事務局	
県移64-33	昭和39年	第一回霞ヶ浦水道組合議会定例会会議録第一号		霞ヶ浦水道組合 議会事務局	
県移65-1	昭和40年～昭和45年	茨城県議会議事堂建設計画関係綴	議会事務局	議事課	
県移65-2	昭和40年度～昭和43年度	茨城県青少年のための環境整備条例推進指定簿		青少年室	
県移65-3	昭和40年～昭和42年	少年補導センター関係綴		青少年室	
県移65-4	昭和40年度	都道府県財政指数表作成関係綴	総務部	財政課	昭和41年作成
県移65-5	昭和40年度	人件費関係資料綴	総務部	財政課	分冊①② 昭和41年作成
県移65-6	昭和40年度	決算状況調査関係綴	総務部	財政課	昭和41年作成
県移65-7	昭和40年度	決算状況調査表(一)	総務部	財政課	分冊①② 投資的経費内訳 昭和41年作成
県移65-8	昭和40年度	決算状況調査表(二)	総務部	財政課	歳出内訳 昭和41年作成
県移65-9	昭和40年度	往復文書綴	総務部	管財課	
県移65-10	昭和40年～昭和41年	総合開発審議会関係綴	企画開発部	総合企画課	
県移65-11	昭和40年度	霞ヶ浦水供給対策検討関係綴(利根川縦横断測量図)	企画開発部	総合企画課	
県移65-12	昭和40年度～昭和41年度	開発公社事業報告書綴	企画開発部	開発課	
県移65-13	昭和40年度～昭和42年度	国民宿舎関係綴	企画開発部	開発課	
県移65-14	昭和40年度～昭和50年度	茨城県開発公社事業計画書・事業成績書等綴	企画開発部	開発課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移65-15	昭和40年度	鹿島臨海工業地帯造成農業対策事業用水補償工事実施設計書	企画開発部	鹿島開発第二課	分冊①②
県移65-17	昭和40年～昭和42年	社団法人茨城県物産開発協会関係綴	商工労働部	商政課	
県移65-18	昭和40年	茨城県物産開発協会設立関係綴	商工労働部	商政課	
県移65-19	昭和40年～昭和48年	茨城県商工開発協会(契約書・登録証・覚書等)関係綴	商工労働部	商政課	茨城県物産開発協会
県移65-21	昭和40年度～昭和41年度	県有財産譲与関係綴	商工労働部	観光課	
県移65-22	昭和40年度～昭和42年度	公有財産引継関係綴	商工労働部	観光課	
県移65-23	昭和40年度～昭和42年度	中小企業労働対策関係綴	商工労働部	労政課	
県移65-24	昭和40年度～昭和41年度	事業内職業訓練施設関係綴	商工労働部	職業訓練課	
県移65-25	昭和40年度～昭和41年度	定期監査資料綴	農林水産部	農業経済課	
県移65-26	昭和40年度	茨城県民鳥獣指定関係綴	農林水産部	林政課	
県移65-27	昭和40年度	鳥獣センター敷地造成工事設計書綴	農林水産部	林政課	
県移65-28	昭和40年度～昭和41年度	事業別実績調綴	農林水産部	林業課	
県移65-29	昭和40年度～昭和53年度	林道路線関係綴	農林水産部	林業課	
県移65-30	昭和40年度～昭和42年度	各種団体関係綴	農林水産部	林業課	
県移65-31	昭和40年度～昭和42年度	鹿島開発農地買収関係綴	農地部	農地課	
県移65-32	昭和40年	土地譲渡関係綴	農地部	農地課	水戸市農業委員会
県移65-33	昭和40年度～昭和41年度	農地買収処分無効確認請求事件関係綴	農地部	農地課	昭和39年行ウ第109号
県移65-35	昭和40年度	建物収去・所有権確認等事件関係綴	農地部	農地課	昭和40年ワ第149号
県移65-36	昭和40年	農地訴訟関係参考資料綴	農地部	農地課	
県移65-37	昭和40年度	決算審査・定期監査資料綴	農地部	農地課	昭和41年9月9・10日・10月26日実施
県移65-38	昭和40年度～昭和54年度	移住者適格通知書綴	農地部	拓務課	
県移65-40	昭和40年度～昭和45年度	在ブラジル留学生受入関係綴	農地部	拓務課	
県移65-41	昭和40年度	定期監査調書綴	農地部	拓務課	
県移65-42	昭和40年度～昭和41年度	訴願関係綴	農地部	拓務課	訴願取下・訴願書返付
県移65-43	昭和40年度～昭和41年度	土地所有権紛争調停関係綴	農地部	拓務課	石岡市石岡東ノ辻
県移65-44	昭和40年度～昭和47年度	茨城県拓殖農業協同組合連合会補助金関係綴	農地部	拓務課	
県移65-45	昭和40年度～昭和42年度	水資源開発基本調査関係綴	農地部	耕地第一課	
県移65-46	昭和40年度～昭和49年度	慣行水利権地区調査票綴(常陸太田土地改良事務所)	農地部	耕地第一課	
県移65-47	昭和40年～昭和44年	高浜干拓漁業補償関係綴	農地部	耕地第一課	
県移65-48	昭和40年度～昭和42年度	常陸川水流調整協議会関係綴	農地部	耕地第一課	
県移65-49	昭和40年～昭和49年	基準点測量実施・成果関係綴	農地部	耕地第一課	
県移65-50	昭和40年度	被害開拓農家営農改善資金損失補償実態調査書	農地部	耕地第二課	
県移65-51	昭和40年～昭和53年	土地・建物等借受台帳	土木部	監理課	
県移65-52	昭和40年度	栄典関係綴	土木部	監理課	
県移65-53	昭和40年度～昭和47年度	百里基地整備による県道付替工事関係綴	土木部	道路建設課	

整理番号	年次	資料名	作成部	作成課	備考
県移65-54	昭和40年～昭和52年	河川法・茨城県河川管理規則等関係綴	土木部	河川課	分冊①②
県移65-55	昭和40年度～昭和49年度	河川砂利基本対策要綱関係綴	土木部	河川課	
県移65-56	昭和40年度	中小河川霞ヶ浦圏繞堤改良工事全体計画認可申請書綴	土木部	河川課	分冊①②③
県移65-57	昭和40年	中小河川小野川改良工事全体第一回変更認可設計書	土木部	河川課	
県移65-58	昭和40年～昭和50年	小野川改良工事全体計画書関係綴	土木部	河川課	
県移65-59	昭和40年	港湾区域内における海岸保全区域の指定状況調べ綴	土木部	河川課	
県移65-60	昭和40年度	工事台帳	土木部	建築課	
県移65-61	昭和40年度	学校営繕工事台帳	土木部	建築課	
県移65-63	昭和40年度～昭和45年度	企業債及び借入金台帳		那珂川工業用水道建設事務所	那珂川工業用水道事業

平成 26 年度無形民俗資料記録映像「栗野春慶塗」から

(無形民俗資料記録映像について)

平成 7 年度以降，茨城県立歴史館では，茨城県下の無形の民俗事例を，映像に記録する事業を展開してきました。無形の民俗事例は，有形の民俗資料とは異なり，物質としての形をもちません。それ故により可變的な性格のものであり，担い手の交代や時流の変化に対応して，刻一刻とその「型」を変化させていきます。また，社会構造の変化や伝承者の消失などにより，その存続が危ぶまれている事例も多く見受けられます。本事業は，このような無形の民俗事例の現在の姿を記録し，後世に伝える一助となるべくスタートしました。平成 26 年度は，国から「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財」に選択されている「栗野春慶」について調査・研究し，その成果として記録映像を制作しました。

(栗野春慶塗の歴史について)

栗野春慶塗は伝承によると，室町時代の延徳元年(1489)に稲川山城守源義明が考案し，その孫義忠が現在の城里町栗の地で始めたといわれています。その後，元禄 12 年(1699)には，8 代目稲川與兵衛が，水戸藩 2 代藩主徳川光圀に召され，紀州の漆工と競い，その技術を認められて，水戸家塗物御用達となっています。9 代藩主徳川斉昭も，江戸邸で使用すべき国産物の中に栗野春慶塗を指定し，その保護・奨励に努めました。大正末期から昭和初期にかけては，県内の工房は 20 数軒を数え，朝鮮半島や中国へも販路を伸ばしました。



栗野春慶塗御用箱（蓋裏）
天文 2 年（1533）
個人蔵



栗野春慶塗提重
稲川義良作
昭和 50 年（1975）
当館蔵

しかし、戦後の栗野春慶塗は、安価な合成樹脂製品に需要を奪われ、衰退を余儀なくされます。昭和 51 年（1976）には、国選択の「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財」となり、昭和 63 年（1988）には、茨城県の郷土工芸品、平成元年（1989）には、茨城県の無形文化財に指定されました。

かつて、飛騨春慶、能代春慶、栗野春慶の 3 つの春慶塗は、「日本三大春慶」と呼ばれていました。しかし、能代春慶は平成 22 年（2010）に伝承者の消失により制作技法が失伝し、現在、技法再現のための研究や、新たな後継者の掘り起こしが試みられています。栗野春慶塗を取り巻く状況も、苦しいものとなっています。原材料の不足や、販路の縮小、後継者不足に悩まされ、県内の栗野春慶塗の工房は、今では 1 軒を残すのみとなっています。

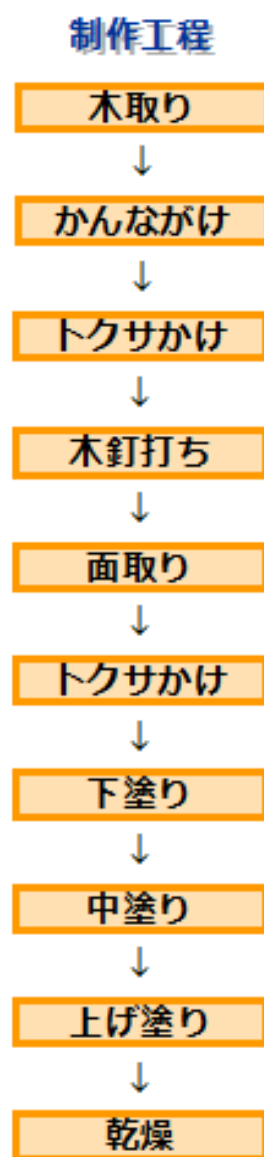
（栗野春慶塗制作工程について）

栗野春慶塗は、現在、東茨城郡城里町栗の地で、稲川山城守源義明の子孫にあたる、19 代目稲川武男さんと 20 代目義一さんによって制作されています。栗野春慶塗は、石桧（イシヒ）や生漆（キウルシ）などの天然の素材を用い、手仕事中心で制作されます。大まかな工程は右図の通りです。

栗野春慶塗の材には、石桧と呼ばれる堅い檜が用いられます。まず、長さ 2 m の板状に製材された石桧を、作品の大きさに合わせて、電動の丸鋸で切り分けます。この工程は「木取り」と呼ばれており、古くは鋸で手曳きしていました。木取りした木材に鉋をかけ、板の厚さを調整した後、トクサで木地の表面を磨き上げます。トクサは「砥草」とも書かれる植物で、表面にヤスリのような細かな凹凸があるため、古くから物を磨くために用いられてきました。サンドペーパーなどで木地を磨くと、研磨剤が木地表面に残り、塗り上がりに影響が出てしまうため、栗野春慶塗制作では、現在でもトクサが使われています。

木材の「トクサかけ」が終わると、部品同士を木釘（キクギ）で接合します。木釘はウツギの枝を円錐状に削ってつくります。サンチンとジョウギという道具で木釘を打ち込む場所を測りだし、錐で下穴をあけます。あらかじめ煎って水分を飛ばした木釘に、米糊をつけて下穴に挿し込み、金槌で打ち込みます。打ち込まれた木釘は、米糊の水分を吸って膨張し、木材をしっかりと接合します。

組み上がった作品に、鉋で「面取り」し、「トクサかけ」を施して、再度、木地の表面を整えます。栗野春慶塗では、漆の下地にニカワなどを用いず、木地に直接、漆を塗るため、木地の仕上げは表面が光を反射するほど平滑になるまで、念入りに行われます。





「トクサかけ」



「木釘打ち」

木地の準備が整うと、漆塗りに入ります。栗野春慶塗の漆塗りは、「下塗り」「中塗り」「上げ塗り」の3回に分けて行われます。「下塗り」と「中塗り」の漆には、大子産の生漆に、梅酢とジュウネと呼ばれる荏胡麻油を加えた物を用います。生漆とは、顔料などが加えられていない、天然の漆液です。梅酢は、干した梅を2時間ほど湯に浸してつくる、梅のエキスが染み出した汁です。梅酢とジュウネには塗り上がりの刷毛目を和らげ、光沢を高める効果があるといわれています。

「下塗り」では、主にスリバケという馬の尻毛の刷毛を用いて、漆を木地に直接塗りつけます。「下塗り」で塗った漆は、木地に染みこみすぎないように、サラシで念入りに拭き取ります。塗り上がった作品は、土室（ドムロ）という、土間と土壁の乾燥室に入れて乾かします。土室の中は、漆の乾燥に適切な、温度 25℃前後、湿度 80% 前後に保たれています。現在では乾燥に育苗機などを使う職人が多く、土室での乾燥は全国でも少なくなっています。



スリバケ



下塗り

2日間乾燥させた後、「中塗り」に入ります。ここで塗る漆は、「下塗り」のものよりも梅酢とジュウネを少なめに調合します。中塗りでは、スリバケで漆を塗った後、女性の髪からつくられた、ナデバケという刷毛で表面をならし、埃を取り除きます。

再び土室に入れ、丸1日乾燥させた作品に、最後の塗りとなる「上げ塗り」を施します。「上げ塗り」の漆には、黒目漆（クロメウルシ）を用います。黒目漆とは、生漆の水分を抜き、酸化させて、黒く精製したものです。生漆を日光のもとで3時間ほど混ぜ続けると、黒目漆が出来上がります。この作業は「クロメる」「クロマる」と



黒目漆



上げ塗り（ナデバケ使用）

いわれ、クリーム色の生漆は濃い焦げ茶色に変色します。美吉野紙で漉した黒目漆に、ごく少量の梅酢とジュウネを加えて塗り上げます。黒目漆には、作品の光沢を増す効果があるといわれています。塗り上がった作品を土室に入れ、2日間の乾燥を経て完成となります。

栗野春慶塗は、下地にニカワや砥の粉などを用いないため、漆が剥がれにくく、木地の木目が透けて見える点が大きな特徴です。この木目を活かすため、ゆがみの出にくい柾目の木材ではなく、扱いの難しい板目の木材を材料としています。栗野春慶塗は、年月を経るにつれ赤みがぬけ、黄金色の輝きをもつようになるといわれています。

（公開について）

当館製作の記録映像の媒体は当初はVHSビデオでしたが、主流となる媒体の移り変わりに伴い、平成21年度以降は全てDVDで製作しています。古い媒体の更新作業は映像資料の宿命であり、過去の貴重な記録映像を残すためにも、時代に応じて常に必要となります。

当館で製作したこれらの記録映像は、自由公開という形にはなっていませんが、今後も当館の展示や出前講座で積極的に活用してまいります。平成26年度テーマ展「つくる一茨城の伝統工芸」でも、エントランスホールにて、本記録映像「栗野春慶塗」を上映いたしました。

また、通常の館蔵資料と同様、他館や学校団体・公的団体での教育活動への利用の場合は「資料貸出申請書」を提出の上、貸出等も可能です。

今後も、有形の資料だけではなく伝統技能などの中にある、人々のこころの部分まで伝えられるように、映像資料のよりよい活用や展示のあり方について、考えを深めていきたいと考えています。

（学芸課 資料調査専門員 田中伸吾）

茨城県立歴史館制作 無形民俗資料記録映像

No.	タイトル	撮影地	時間	媒体	製作年度
1	だるま	ひたちなか市	約 15 分	VHS	平成 7 年度
2	鳥追い	北茨城市／筑西市	約 10 分	VHS	平成 7 年度
3	鷺子彫	常陸大宮市	約 15 分	VHS	平成 8 年度
4	西金砂神社小祭礼	常陸太田市	約 15 分	VHS	平成 8 年度
5	国寿石 大子硯	大子町	約 15 分	VHS	平成 8 年度
6	盆綱	茨城町／小美玉市	約 15 分	VHS	平成 9 年度
7	金砂郷のそばづくり	常陸太田市	約 15 分	VHS	平成 9 年度
8	延方相撲	潮来市	約 15 分	VHS	平成 10 年度
9	太陽と月のまつり	常陸太田市／稲敷市	約 15 分	VHS	平成 10 年度
10	棒ささら	水戸市／ひたちなか市／石岡市	約 15 分	VHS	平成 11 年度
11	大生神社巫女舞神事	潮来市	約 16 分	VHS	平成 12 年度
12	大津の盆船流し	北茨城市	約 15 分	VHS	平成 13 年度
13	鹿島神宮御船祭	鹿嶋市／潮来市	約 20 分	VHS	平成 14 年度
14	常陸太田の雪村うちわ	常陸太田市	約 14 分	VHS/DVD	平成 15 年度
15	茨城の年中行事Ⅰ（①浅間様／②御太刀／③オビシヤ／④節分追儼式）	①稲敷市／②河内町／③取手市／④稲敷市	約 22 分	VHS	平成 16 年度
16	茨城の年中行事Ⅱ（①へいさんぼう／②大日様／③盆綱／④盆船流し／⑤大飯まつり）	①かすみがうら市／②稲敷市／③小美玉市／④北茨城市／⑤桜川市	約 29 分	VHS	平成 17 年度
17	茨城の年中行事Ⅲ（①部垂の祇園／②鷺子山の祇園／③アワアワ祇園／④馬出し祇園／⑤撞舞／⑥藤切り祇園）	①②常陸大宮市／③小美玉市／④行方市／⑤龍ヶ崎市／⑥かすみがうら市	約 33 分	VHS/DVD	平成 17 年度
18	茨城の奉納相撲（①鹿島吉田神社延方相撲／②化蘇沼稲荷神社奉納相撲／③常陸国総社宮例祭奉納相撲／④栗山観音祭礼相撲／⑤鹿島神宮相撲祭）	①潮来市／②行方市／③石岡市／④八千代町／⑤鹿嶋市	約 28 分	VHS/DVD	平成 18 年度
19	茨城の祝い舞（①水戸大神楽／②三河万歳）	①水戸市／②筑西市	約 43 分	VHS/DVD	平成 19 年度
20	筑波山お座替わり神事	つくば市	約 20 分	VHS/DVD	平成 20 年度
21	鹿島みろく	鹿嶋市／熱海市／小田原市	約 20 分	DVD	平成 21 年度
22	茨城の年中行事Ⅳ～天狗信仰の行事～（①大杉神社あんば様／②下石崎のあんば祭り／③玄生地区の大杉様／④西丸山祈禱ばやし／⑤愛宕神社の悪態祭り）	①稲敷市／②茨城町／③鉾田市／④つくばみらい市／⑤笠間市	約 27 分	DVD	平成 22 年度
23	茨城の年中行事Ⅴ（①タバンカ祭り／②一つもの神事／③八日まつり）	①②下妻市／③桜川市	約 26 分	DVD	平成 23 年度
24	筑波山禅定と筑波講	つくば市	約 35 分	DVD	平成 24 年度
25	素鷺神社祇園祭（小川の祇園）とトウヤの行事	小美玉市	約 46 分	DVD	平成 25 年度
26	栗野春慶塗	城里町	約 30 分	DVD	平成 26 年度

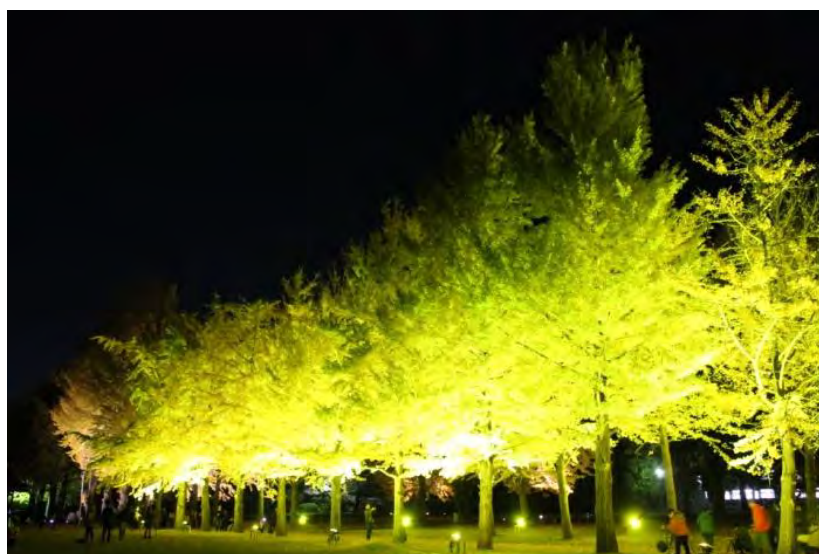
トピックス

平成 26 年度 下半期の歴史館

歴史館いちよう並木ライトアップ 11 月 14 日（土）、15 日（日）

毎年 11 月中旬を迎えると、日中には素晴らしい黄葉を見せてくれる歴史館のいちよう並木。今年は初めて、夜間のいちようライトアップが行われました。

14 日の午後 5 時 30 分、カウントダウンの声とともにライトが灯され、夜の歴史館に幻想的な景色が浮かび上がりました。待ち望んでいたたくさんのお客様からは、わあっという歓声と拍手が巻き起こり、その後はカメラを手に撮影を楽しむ姿が多く見られました。



歴史館探検ツアー 12月14日（日）

「歴史館の裏側はどうなっているの？」・・・年に2回行われる歴史館探検ツアーは、そんな皆さんの疑問にお答えすべく、普段見ることのできない裏側を見て回り、歴史館を身近に感じることができる人気のイベントです。

今回は、旧水海道小学校本館にある、スタインウェイ&サンズ社が1865年に製造したグランドピアノによるミニ演奏会からスタート。考古収蔵庫で土器を見たり、展示資料を運ぶ大きなエレベーターに乗ったり、さらには軽量粘土で埴輪を作ったりと、盛りだくさんな内容でした。寒い中、目を輝かせながら研究員の話に耳を傾ける子どもたちの姿が印象的でした。



各行事などについてのお問い合わせは、

茨城県立歴史館 教育普及課 電話 029-225-4425

または、ホームページの「お問い合わせ」からメールをお送りください。

--- お知らせ ---

喫茶コーナー

春の特別展開催期間中2月7日（土）～3月22日（日）の土・日・祝日、本館講堂の入口に、いれたてコーヒーなどをお楽しみいただける喫茶コーナーを開設いたします。皆様のおいでを心よりお待ちしております。

